１９.ステップメール

目次

◆◆◆概要◆◆◆・・・

ステップメールを使用するには 1-1【 使用するメーラーを選択する 】で「@ドリームメーラーを使用する」にチェックを付けてください。
メインメニューに「ステップメール」ボタンが表示されます。「ステップメール」ボタンをクリックすると、図 19.1 配信スケジュール画面が表示されます。

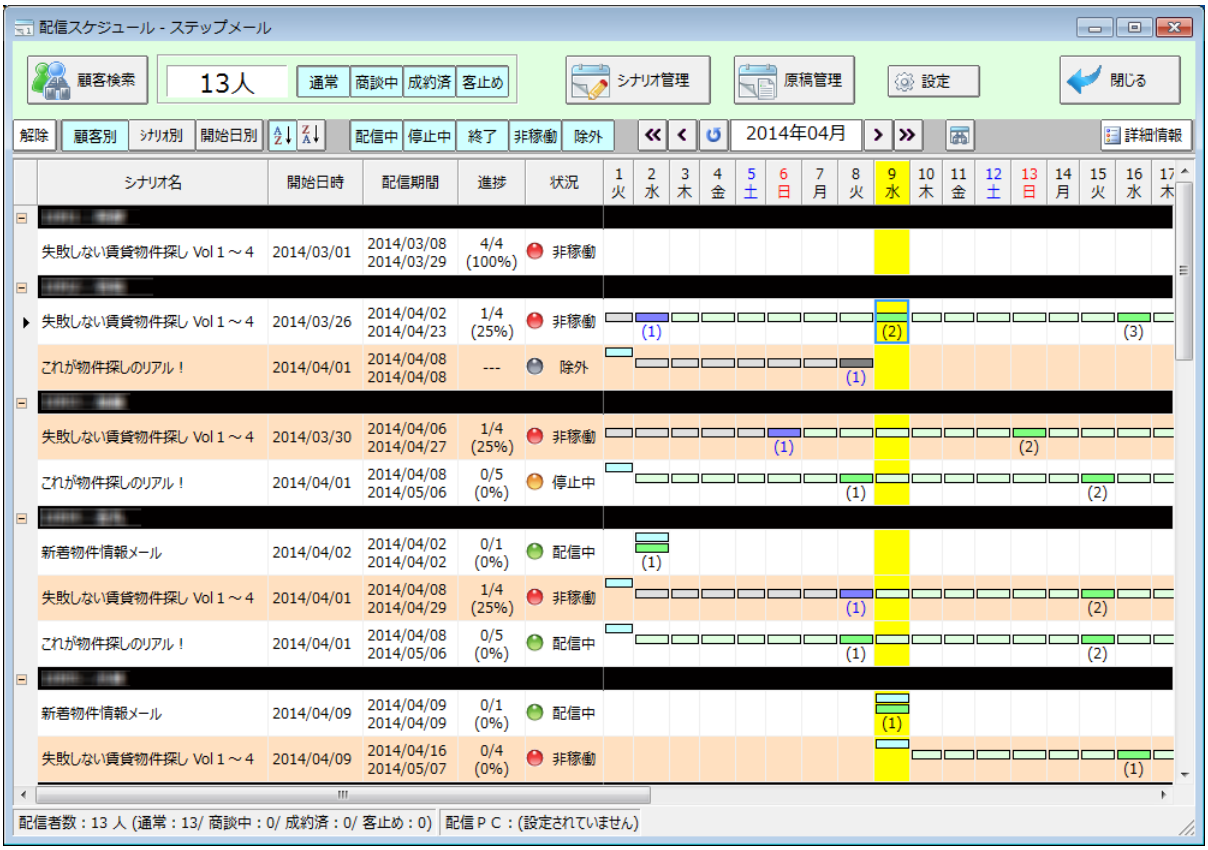


図 19.1：配信スケジュール画面

◆◆◆概要◆◆◆

ステップメールとはあらかじめ用意された複数の内容のメールをスケジュールに沿って順次自動配信するメールシステム機能です。

この画面で配信スケジュールの管理、配信する内容の管理などを行えます。
メール送信は別プロセスで動作している送信モジュールにて自動的に処理されるため、ユーザーが送信操作をする必要はありません。

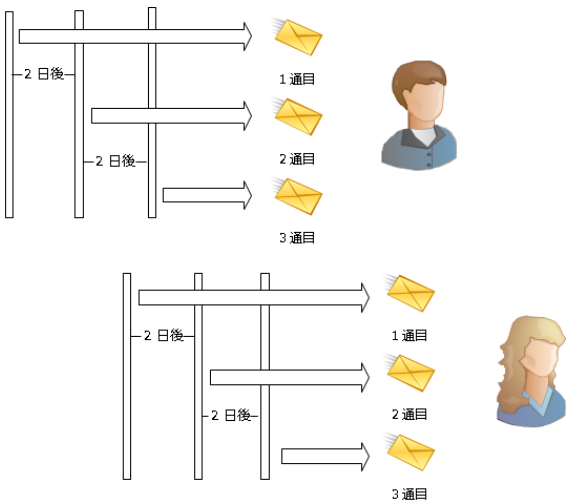


図 19.2：ステップメール概要

実際に顧客に対しステップメールを配信するには以下の手順で配信データを作成する必要があります。

①まず、発信したい情報を何回に分けてメール配信したいかを計画します。

例）不動産ニュースを３回配信する。

１回目　ニュース Vol１　新着物件をチェックしてください！

２回目　ニュース Vol２　ホームページとスタッフ紹介

３回目　ニュース Vol３　未公開物件とリクエストのお話・・・など

②配信数分のメール文面を設定します。

→ **19-1【 配信原稿を管理する 】**を参照してください。

③配信数分のメール配信間隔、時間を設定します。

→ **19-2【 配信シナリオを管理する 】**を参照してください。

④配信したい顧客を選択して、配信リストを設定します。

→ **19-2【 配信シナリオを管理する 】**を参照してください。

⑤メール配信する PC(Multistore 版はユーザー)を決定します。（初期設定時）

→ **19-3【 配信スケジュールを管理する 】**を参照してください。

※ステップメールでメール送信されるメールの文面のテンプレートを「原稿」という名前で管理しています。
メールの配信数を「ステップ」、そのステップのまとまり１つを「シナリオ」という名前で管理しています。
「シナリオ」および「ステップ」で定義した配信タイミングが決まった段階で「シナリオ」を配信する顧客を登録すると、実際に配信する日程が決定されます。これを「配信スケジュール」として管理します。

※ステップメールで作成できるメールはテキスト形式のみです。
HTML 形式には対応していません。

ステップメール機能で作成される原稿、シナリオ、ステップデータに制限はありません。
データベースの容量またはメモリの許す限り登録が可能です。

１９－１　【 配信原稿を管理する 】

図 19-1.1 配信スケジュール画面の「原稿管理」ボタンをクリックします。

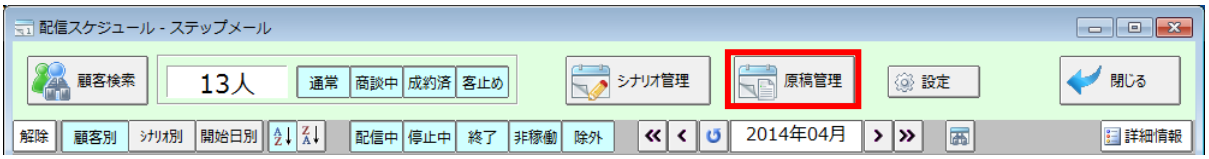


図 19-1.1：配信スケジュール画面 － 原稿管理ボタン

図 19-1.2 原稿管理画面が表示されます。この画面では、ステップメールで送信するメールの文面のひな型管理を行えます。

また、シナリオ設定時にステップ毎の原稿を選択する際の選択画面としても機能します。



図 19-1.2：原稿管理画面

原稿データは設定した区分データ毎(区分が存在しない場合は区分無し)にまとめられます。

19-1-A 区分リスト、19-1-B「メール対象」ボタンの何れかを選択すると、選択内容に対応した原稿データが 19-1-C 原稿リストに表示されます。

◆◆◆原稿リストの概要◆◆◆

「選択」列

・原稿データに対し複数操作を行う場合に使用します。後述する原稿の編集、コピー、削除で使用されます。

「タイトル」列

・原稿データの識別名です。原稿編集時に入力します。

「メール対象」列

・原稿データの送信対象です。PC 用の場合は顧客カルテの Email～Email3 のアドレスに対して使用されるデータになります。携帯用の場合は顧客カルテの携帯 Email～携帯 Email3 のアドレスに対して使用されるデータになります。

「配信使用数」列

・原稿データが実際に送信される文面としてシナリオに設定されている場合にカウントされます。カウントが 0 の場合は、シナリオで使用していないデータとなります。

さらに原稿リストからデータをクリックして選択すると、19-1-D「選択原稿」欄に原稿データの設定情報が表示されます。

「選択原稿プレビュー」

・選択された原稿データのメール件名、本文を表示します。編集はできません。

「選択原稿を使用中のシナリオ・ステップ」

・選択された原稿データが実際に配信される原稿としてシナリオに設定されている場合に、設定されているシナリオおよびステップ No を表示します。

【 区分を設定する 】

区分を設定すると、作成した複数の原稿データを１つにまとめて管理できます。
区分データは原稿データとシナリオデータで共通です。
図 19-1.3 原稿管理画面の「区分設定」ボタンをクリックします。

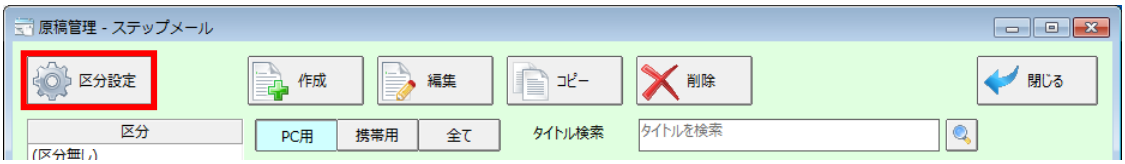


図 19-1.3：原稿管理画面 － 区分設定ボタン

図 19-1.4 区分設定画面が表示されます。
区分名を変更したい場合は区分リストから選択して「名称変更」ボタン、追加したい場合は「追加」ボタンをクリックすると、図 19-1-5 入力ダイアログが表示されます。
区分名を入力後、19-1-G「OK」ボタンをクリックすると、区分リストに反映されます。

削除する場合は削除したい区分をリストから選択して「削除」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されますので「はい」をクリックすると削除出来ます。
※区分に関連付いていた原稿データは(区分無し)となります。

19-1-H「↑」「↓」ボタンでリストから選択した区分の順番が変更出来ます。
変更したい区分をクリックしてボタンをクリックします。

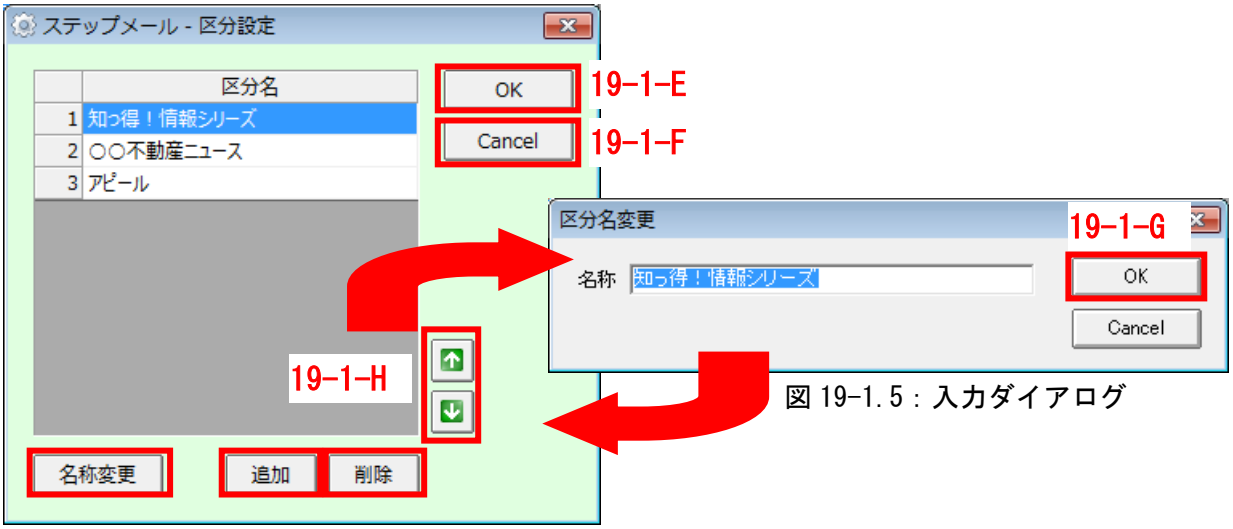


図 19-1.5：入力ダイアログ

図 19-1.4：区分設定画面

最後に 19-1-E「OK」ボタンをクリックすると、変更データを保存して、呼び出し元に反映させます。
19-1-F「Cancel」ボタンをクリックすると、変更データを破棄して画面を閉じます。

【 原稿を作成、編集する 】

実際に送信されるメールの文面を作成、編集します。

①原稿を新たに作成する場合は、図 19-1.6 原稿管理画面の「作成」ボタンをクリックします。

②既に登録済みの原稿を編集する場合は、原稿リストから選択して「編集」ボタンをクリックします。

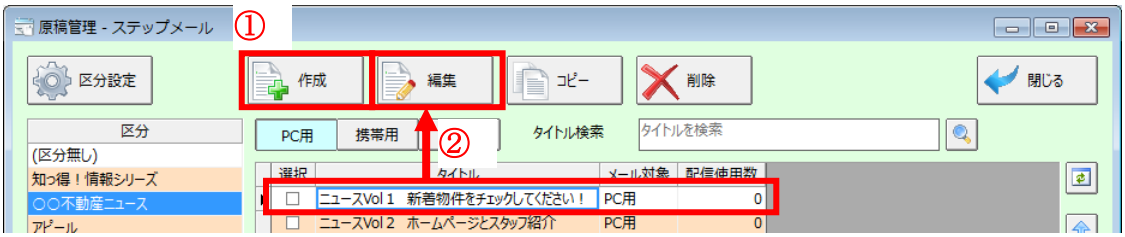


図 19-1.6：作成（編集）ボタン

図 19-1.7 原稿編集画面が表示されます。

ここではメールの件名および本文を作成します。署名は本文に記載してください。

ステップ毎に原稿が必要になります。複数回のステップを計画している場合はステップ数分の原稿を用意してください。



図 19-1.7：原稿編集画面

登録済みの原稿を編集する場合、編集画面を複数開くことが可能です。用途に応じてお使いください。



図 19-1.8：複数画面表示

◆◆◆原稿の設定◆◆◆

「区分」

・19-1【 区分を設定する 】で設定した区分を選択します。ここから区分の設定も可能です。
選択しない場合は(区分無し)となります。複数回のステップの原稿を作成した場合は、区分に関連付けておくと管理が容易になります。

「タイトル」(必須入力)

・原稿の名称を設定します。原稿管理画面の原稿リストやステップ設定時にこの名前が表示されます。
原稿の内容を端的に表した名前を付けると良いでしょう。

「メール対象」

・この原稿を送信するメールの対象を選択します。
「PC 用」は顧客カルテの Email～Email3 に対して配信される内容になります。
「携帯用」は顧客カルテの携帯 Email～携帯 Email3 に対して配信される内容になります。

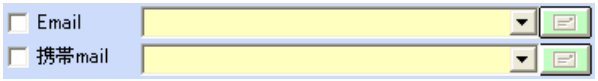


図 19-1.9：顧客カルテ画面 - Email アドレス

※編集している原稿が何らかのシナリオのステップに設定されている場合、変更することは出来ません。

※携帯用の原稿を作成する場合、携帯の機種によって違いはありますが、文字数制限があります。原稿をあまり長くしてしまうと、肝心の物件情報が切れて送信されてしまう場合もありますので、比較的短い文章にすることをお勧めします。

◆◆◆配信内容の設定◆◆◆

「件名」、「本文」

・実際にステップメールで送信された際のメール内容になります。
以下の操作ボタンにより、ひな形・署名画面で作成された文面や固定キーを挿入することが可能です。

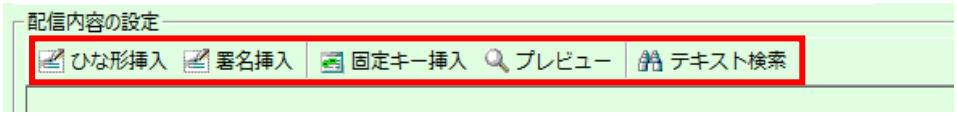


図 19-1.10：各種操作ボタン

「ひな形挿入」

・「メインメニュー」→「ひな形・署名」で設定可能なひな形データを挿入出来ます。
ひな形の件名は件名へ、内容は本文に挿入されます。

「署名挿入」

・「メインメニュー」→「ひな形・署名」で設定可能な署名データを挿入出来ます。
内容は本文に挿入されます。

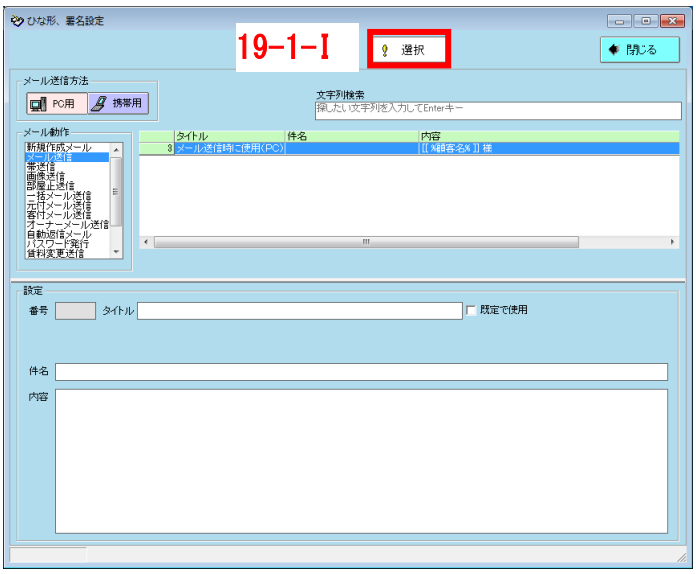


図 19-1.11：ひな形・署名画面

ひな形または署名を入れたい場所をマウスでクリック後、ボタンをクリックすると、図 19-1.11 ひな形･署名画面が表示されます。挿入したいひな形または署名を一覧からダブルクリックして、19-1-I「選択」ボタンで確定します。

「固定キー挿入」

・原稿内容の一部を固定キーにしておくと、実際にメール送信する際に固定キーの部分が対応する内容に置き換わります。
ステップメールで固定キーを使用するメリットはメール送信が 1 通ずつ行われるため、本文に**[[%顧客名%]]**を入れておくと、実際に送る顧客の氏名に置き換わり、あたかもその人に対してメールを出したような文面を作成することが出来る点です。



図 19-1.12：固定キーマスタ画面

固定キーを入れたい件名または本文の場所をマウスでクリック後、「固定キー挿入」ボタンをクリックすると、図 19-1.12 固定キーマスタ画面が表示されます。
挿入したい固定キーを一覧からダブルクリックすると、指定した場所に挿入されます。

※固定キー作成/編集の詳細については、17. 固定キーマスタを参照してください。

「プレビュー」

・固定キー変換後の原稿がどのように表示されるかを確認出来ます。
「プレビュー」ボタンをクリックすると、固定キーが原稿内に存在した場合、変換を行なって図 19-1.13 の変換プレビュー欄に表示します。

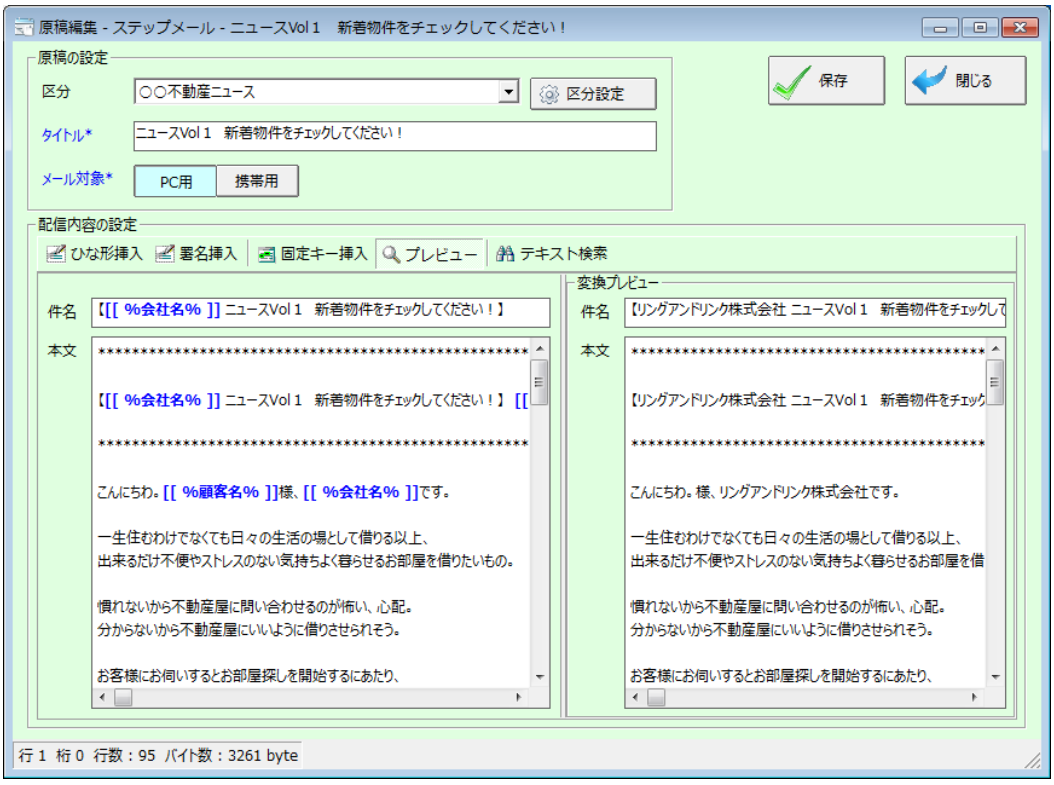


図 19-1.13：プレビュー

※顧客名、顧客名(姓)、顧客名(名)、担当者、会社_学校名、部署名、役職は顧客データによって変換されるため、この画面では空で表示されます。

「テキスト検索」

・「テキスト検索」ボタンをクリックすると、図 19-1.14 検索ダイアログが表示されます。

「検索する文字列」に指定した文字列を原稿本文内で検索します。一致する文字列が見つかると、検索された本文の文字列が選択されます。

「置換」タブをクリックすると図 19-1.15 置換ダイアログになります。「検索する文字列」に指定した文字列を原稿本文内で検索し、「置換後の文字列」に指定した文字列で置き換えます。

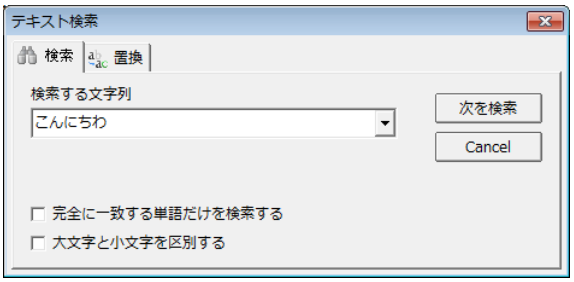


図 19-1.14：検索ダイアログ

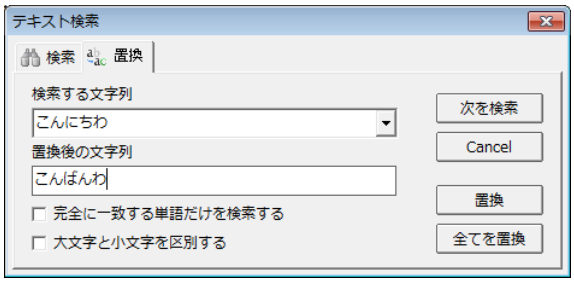


図 19-1.15：置換ダイアログ

※検索、置換対象は本文のみとなります。件名は対象に出来ません。

◆◆◆編集終了◆◆◆

「保存」

・編集した原稿を保存します。保存条件である「タイトル」が入力されていない場合はエラーメッセージが表示され、保存出来ません。

保存後、原稿管理画面に戻ります。

「閉じる」

・原稿編集画面を閉じて、原稿管理画面に戻ります。

編集した原稿が未保存の場合、保存を促すメッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると原稿を保存後に画面を閉じます。

【 原稿をコピーする 】

登録済みの原稿データをコピーします。

図 19-1.16 原稿管理画面で原稿リストからコピーしたい原稿データを選択して「コピー」ボタンをクリックします。

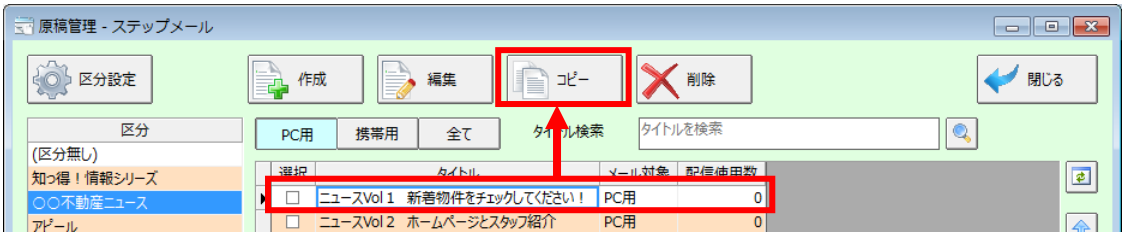


図 19-1.16：コピーボタン

確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、コピーが行われ、タイトルに「コピー」と付いたデータが追加されます。（図 19-1.17 参照）

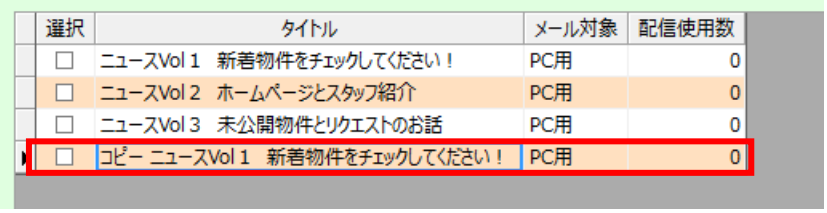


図 19-1.17：コピー実行後

まとめてコピーしたい場合は、コピーしたい原稿データの選択列にチェックを付け、同様に「コピー」ボタンをクリックすると、一度に複数原稿がコピーされます。

【 原稿を削除する 】

登録した原稿データを削除します。

図 19-1.18 原稿管理画面で原稿リストから削除したい原稿データを選択して「削除」ボタンをクリックします。

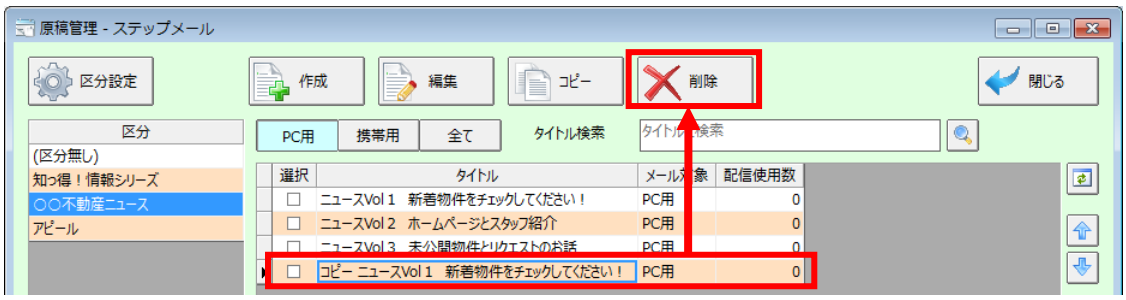


図 19-1.18：削除ボタン

※削除すると、その原稿データは復元出来ません。十分に注意してください。

削除が可能な原稿データの場合は図 19-1.19 の確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、削除が行われます。

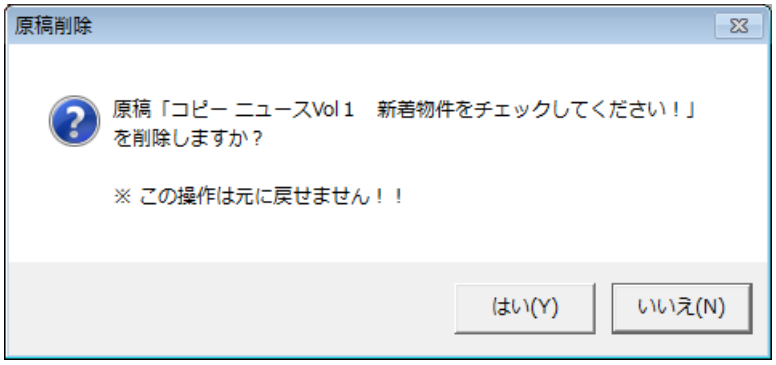


図 19-1.19：確認メッセージ

まとめて削除したい場合は、削除したい原稿データの選択列にチェックを付け、同様に「削除」ボタンをクリックすると、一度に複数原稿が削除されます。

削除が出来ない原稿データの場合は図 19-1.20 のエラーメッセージが表示されます。

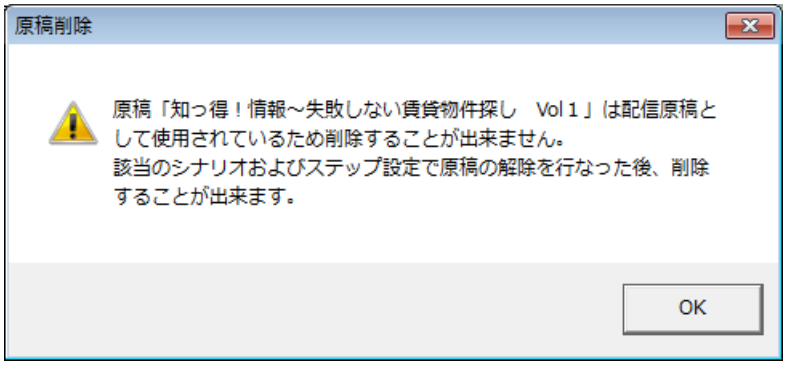


図 19-1.20：削除不可メッセージ

選択した原稿が何らかのシナリオの配信ステップで使用されている場合、送信する文面が削除されると都合が悪いため、削除出来ない仕様となっています。
削除可能な原稿かどうかは原稿リストの「配信使用数」列で識別可能です。使用数が 1 以上の場合は削除することは出来ません。

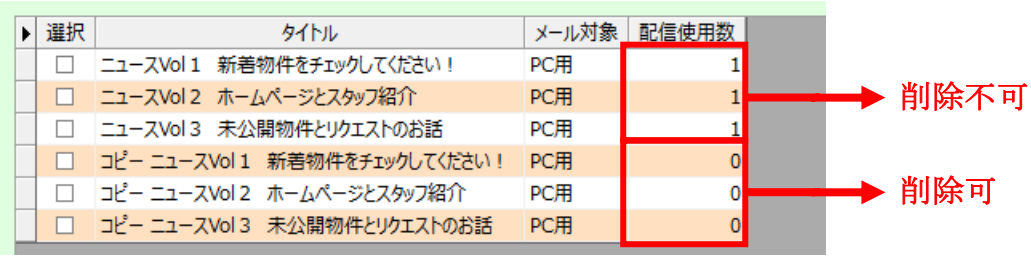


図 19-1.21：削除可否

どのシナリオで使用中かを確認したい場合は、削除したい原稿を選択すると、
「選択原稿を使用中のシナリオ・ステップ」欄にシナリオ名およびステップ No が表示されます。



図 19-1.22：原稿使用中のシナリオの確認

後述するシナリオの設定で原稿の解除が出来ますが、代わりの原稿と差し替える必要があります。

【 原稿の表示順番を変更する 】

表示される原稿の順番を変更することが出来ます。

原稿リストより順番を変更したい原稿データを選択し、19-1-J の「↑」「↓」ボタンをクリックすると、順番が変更されます。



選択	タイトル	メール対象	配信使用数
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 2	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 3	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 4	PC用	1
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 2	PC用	1
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 3	PC用	1
☐	知っ得！情報～これが物件探しのリアル！　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～これが物件探しのリアル！　Vol 2	PC用	1

図 19-1.23：表示順番変更前



選択	タイトル	メール対象	配信使用数
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 2	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 3	PC用	1
☐	知っ得！情報～失敗しない賃貸物件探し　Vol 4	PC用	1
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 2	PC用	1
☐	知っ得！情報～賃貸よくある質問　Vol 3	PC用	1
☐	知っ得！情報～これが物件探しのリアル！　Vol 1	PC用	1
☐	知っ得！情報～これが物件探しのリアル！　Vol 2	PC用	1

図 19-1.24：表示順番変更後

１９－２　【 配信シナリオを管理する 】

図 19-2.1 配信スケジュール画面の「シナリオ管理」ボタンをクリックします。

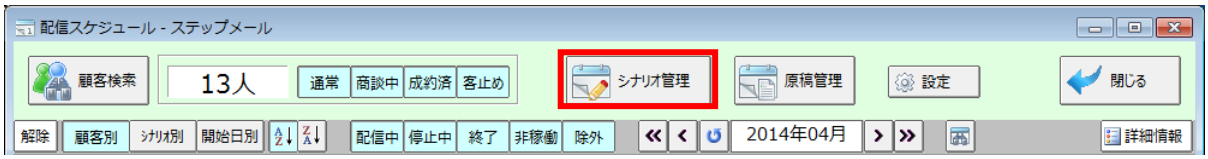


図 19-2.1：シナリオ管理ボタン

図 19-2.2 シナリオ管理画面が表示されます。この画面では、ステップメールの配信間隔や、配信回数などを設定するシナリオデータ、そのシナリオを配信する顧客データを管理する画面です。

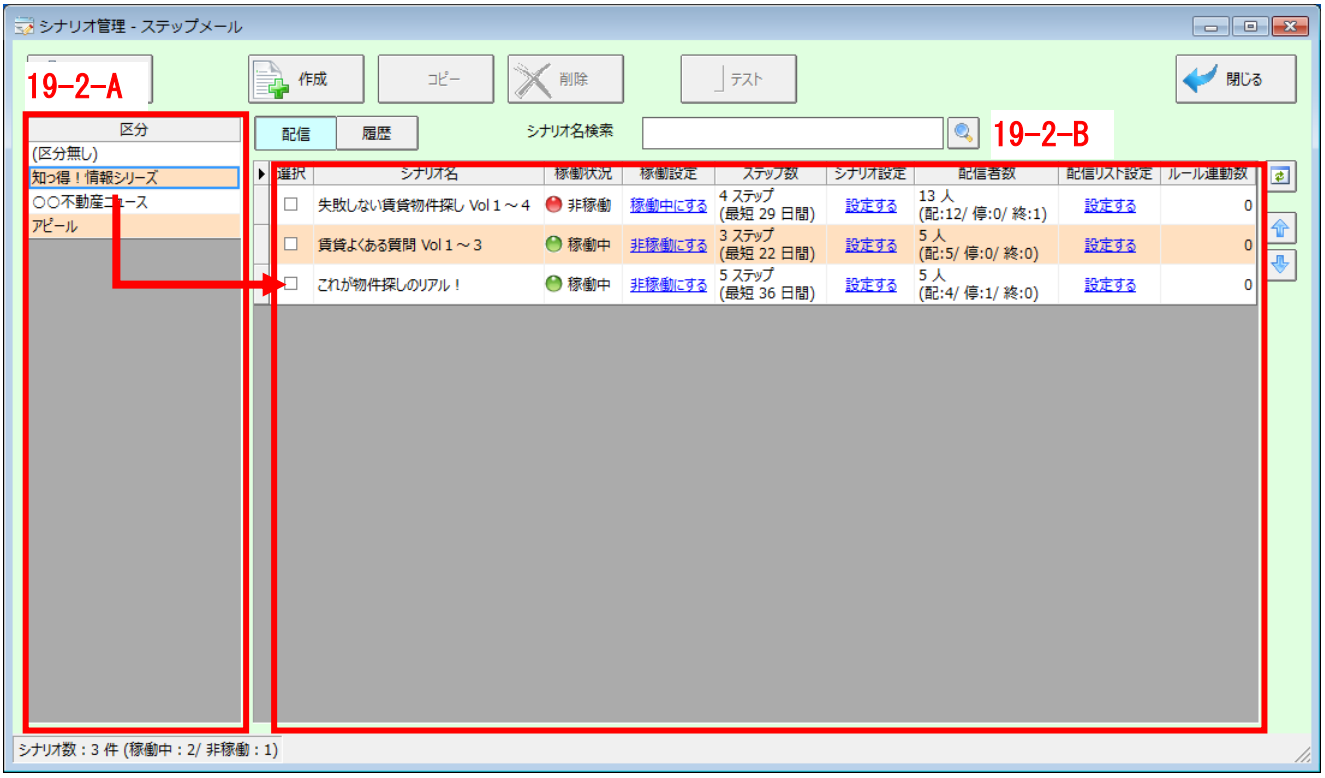


図 19-2.2：シナリオ管理画面

シナリオデータは設定した区分データ毎(区分が存在しない場合は区分無し)にまとめられます。
19-2-A 区分リストを選択すると、選択内容に対応したシナリオデータが 19-2-B シナリオリストに表示されます。

◆◆◆シナリオリストの概要◆◆◆

「選択」列

・シナリオデータに対し複数操作を行う場合に使用します。後述するシナリオのコピー、削除、テストで使用されます。

「シナリオ名」列

・シナリオデータの識別名です。シナリオ設定時に入力します。

「稼働状況」列

・シナリオがステップメール配信を行える場合は「稼働中」になります。
　ステップメール配信を行えない状態の場合は「非稼働」になります。

「稼働設定」列

・登録してあるシナリオをステップメール配信させるか、させないかを設定します。
　稼働設定セル内の青下線文字列にマウスを合わせると、マウスカーソルが変化します。
　(図 19-2.3 参照)
　この状態でセルをクリックすると、確認メッセージが表示されます。(図 19-2.4 参照)
　「はい」をクリックすると、稼働状況列が「非稼働」→「稼働中」(またはその逆) に変わります。
　(図 19-2.5 参照)



図 19-2.3：稼働設定変更前



図 19-2.5：稼働設定変更後

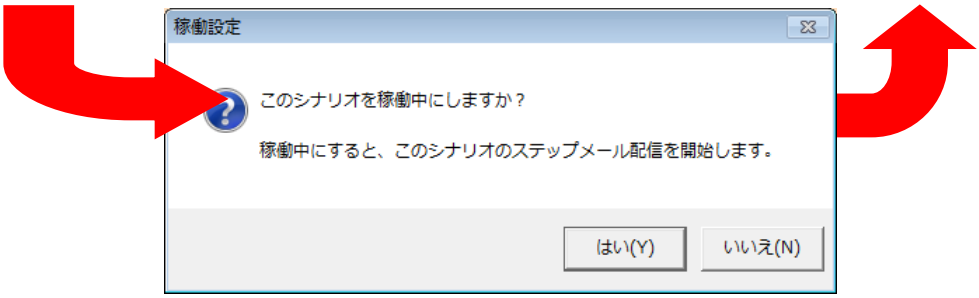


図 19-2.4：確認メッセージ

※稼働状況を「非稼働」から「稼働中」にすると、そのシナリオの配信顧客全員に対し、一括でステップメール配信が開始されます。また、「非稼働」にした場合は、このシナリオの配信顧客全員に対し、一括でステップメール配信を停止させます。
シナリオが配信しても問題ないか十分に確認した上で稼働設定を変更してください。

「ステップ数」列

・シナリオに設定されている配信ステップ数および最短で終了する日数を表示します。

「シナリオ設定」列

・シナリオ設定画面を表示します。**19-2【 シナリオを作成、編集する 】**を参照してください。

「配信者数」列

・シナリオに登録されている配信顧客数および配信状況数を表示します。

「配信リスト設定」列

・配信リスト設定画面を表示します。**19-2【 配信リストを設定する 】**を参照してください。

「ルール連動数」列

・スケジュールマスタ画面で作成されたスケジュールルールとステップメールシナリオが連動している場合にカウントされます。
　カウントが 0 の場合は、スケジュールルールと連動していないシナリオとなります。
　19-2【 配信リストを設定する 】を参照してください。

【 区分を設定する 】

区分を設定すると、作成した複数のシナリオデータを１つにまとめて管理できます。

区分データは原稿データとシナリオデータで共通です。

図 19-2.6 原稿管理画面の「区分設定」ボタンをクリックします。区分設定画面が表示されます。

区分設定画面の操作方法は 19-1【 区分を設定する 】と同様です。

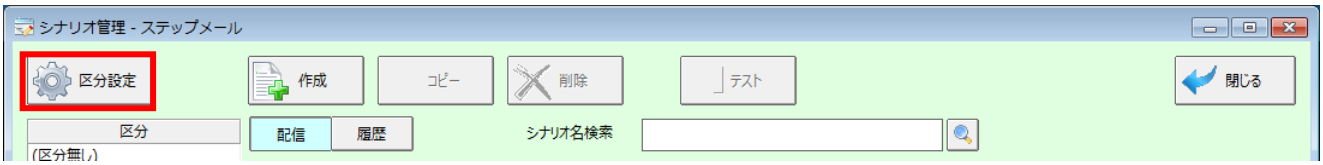


図 19-2.6：区分設定ボタン

【 シナリオを作成、編集する 】

シナリオデータを作成、編集します。

①シナリオを新たに作成する場合は、図 19-2.7 シナリオ管理画面の「作成」ボタンをクリックします。

②既に登録済みのシナリオを編集する場合は、編集したいシナリオ設定セル内の青下線文字列に
マウスを合わせると、マウスカーソルが変化するのでクリックします。（図 19-2.7 の②参照）

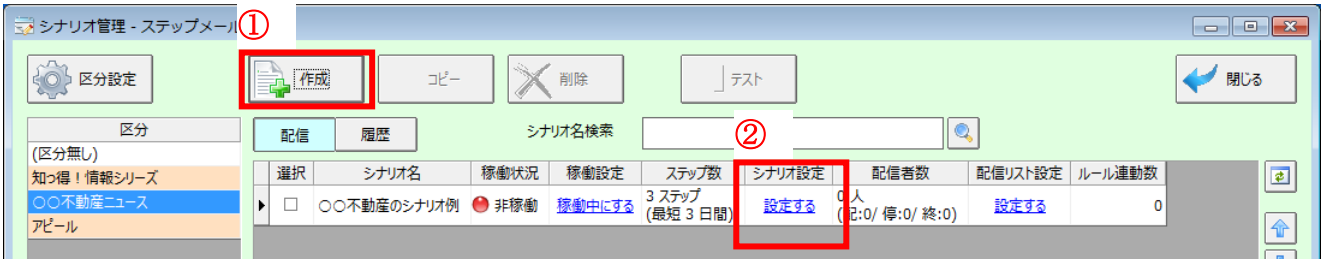


図 19-2.7：作成ボタン、設定セル

図 19-2.8 シナリオ設定画面が表示されます。

ここではステップメールの配信間隔や、配信数、配信するメール本文などを選択します。

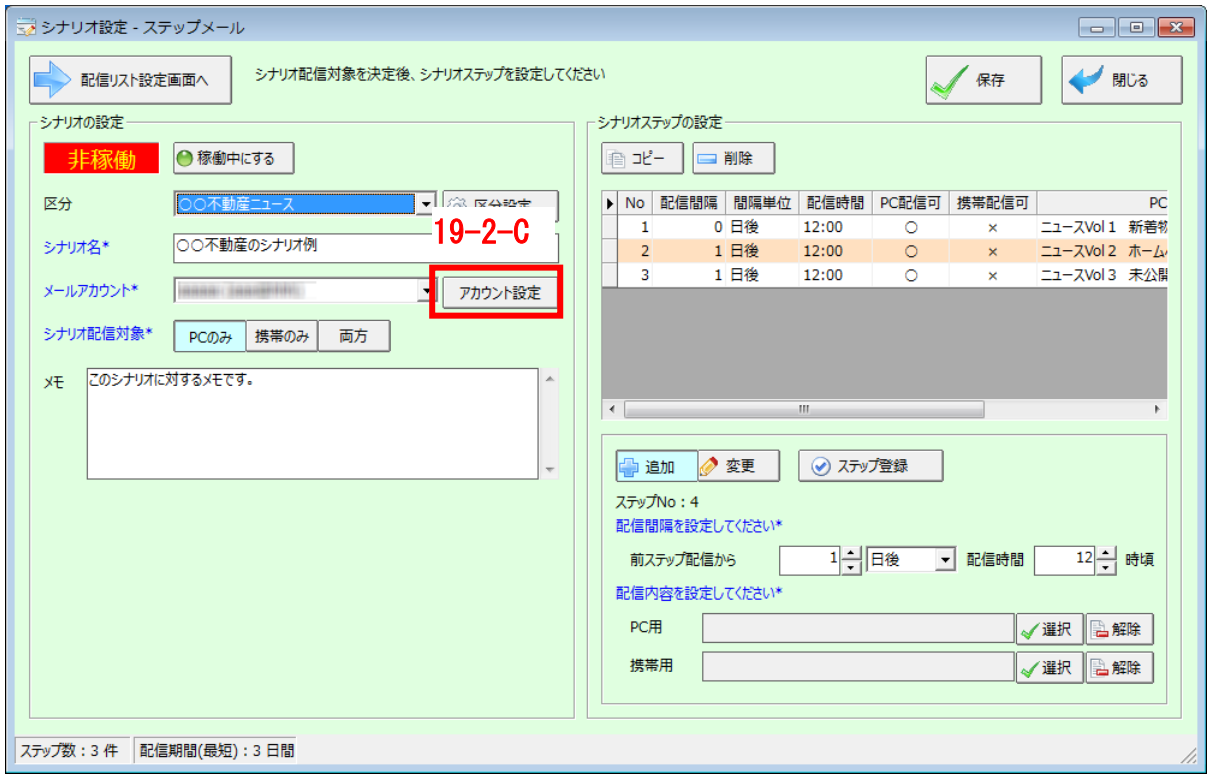


図 19-2.8：シナリオ設定画面

※シナリオおよびステップの内容を変更すると、現在そのシナリオを配信している顧客の配信スケジュールにも影響します。
変更しても問題が無いか十分に考慮を行なった上でお願いします。

◆◆◆シナリオの設定◆◆◆

「非稼働／稼働中にする」

・シナリオをステップメール配信させるか、させないかを設定します。
稼働中に設定するとこのシナリオの配信顧客に対し、一括でステップメール配信が開始され、非稼働にすると配信が一括停止します。
※変更後、保存しないと確定しません。

・「作成」ボタンでシナリオを新規作成している場合は、保存を行わないと操作出来ません。

「区分」

・19-2【 区分を設定する 】で設定した区分を選択します。ここから区分の設定も可能です。
選択しない場合は(区分無し)となります。

「シナリオ名」(必須入力)

・シナリオの名称を設定します。シナリオ管理画面のシナリオリストや配信スケジュール画面で、この名前が表示されます。
シナリオの配信内容を端的に表した名前を付けると良いでしょう。

「メールアカウント」(必須入力)

・このシナリオでステップメール配信する際の送信者アカウントを設定します。
シナリオ毎にアカウントを変更できます。

・このアカウントはドリームメーラーで設定されているメールアカウントと共有しています。
図 19-2.8 の 19-2-C「アカウント設定」をクリックすると、図 19-2.9 アカウント設定画面が表示されます。アカウント設定画面の詳細は、16. DreamMailer を参照してください。

・必要であればここからメールアカウントを追加出来ます。
追加されたアカウントは、ドリームメーラー側でも利用可能です。

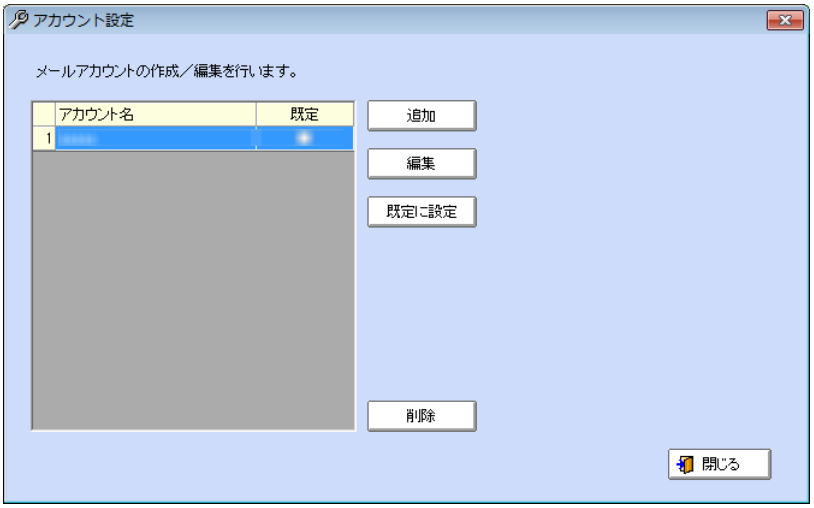


図 19-2.9：アカウント設定画面

※配信するステップメールのデータ量が多い場合、長時間設定されたアカウントを占有する可能性があります。ステップメール配信を行う場合は、通常使用されているアカウントとは別のアカウントを用意されることをお勧めします。

「シナリオ配信対象」（必須入力）

・このシナリオが配信するメールの種類を設定します。

例えば「PC のみ」に設定すると、このシナリオの配信顧客の PC 用メールアドレス(Email～Email3)に対し、シナリオステップ設定で設定された PC 用の配信内容をメールで送信します。

配信顧客に携帯用メールアドレスが設定されていても、携帯にはメール送信を行いません。

・「作成」ボタンでシナリオを新規作成している場合は、この設定を決定しないとシナリオステップの設定が行えません。

「メモ」

・このシナリオに対する注意書きなど、何か書き込んでおきたい内容を入力します。

◆◆◆シナリオステップの設定◆◆◆

・新しいステップを追加する場合は図 19-2.10 の 19-2-D「追加」ボタンをクリックします。

登録済みのステップを変更する場合は、図 19-2.11 の 19-2-F「変更」ボタンをクリック後にステップリストから変更したいデータを選択すると入力欄にセットされます。

・19-2-E「ステップ登録」か 19-2-G「ステップ更新」ボタンをクリックすると、入力したデータが確定します。この作業を配信したい回数分繰り返します。

※ステップはシナリオに最低１つ設定されている必要があります。



図 19-2.10：追加時



図 19-2.11：変更時

◆◆◆ステップリストの概要◆◆◆

「No」列

・ステップ番号です。必ずステップ No1 から順番にメールが配信されます。

「配信間隔」、「配信単位」列

・該当のステップが前回ステップからどの程度の期間を空けて配信されるのかを表します。

「配信時間」列

・該当のステップが配信日の何時に配信されるかを表します。

※大量の配信データを１通ずつ配信している関係上、ずれることがあります。
配信時間は目安程度に考えてください。

「PC 配信可」、「携帯配信可」列

・該当のステップの原稿の設定状態を表します。

配信対象に原稿が設定されている場合、その列は「○」となります。仮に携帯配信可列が「×」の場合、携帯用に原稿が設定されていないため、このシナリオでは携帯に配信が出来ないことになります。

「PC タイトル」、「携帯タイトル」列

・該当のステップに設定されている原稿のタイトルを表示します。

「コピー」

・登録済みのステップデータをコピーします。

図 19-2. 12 でステップリストからコピーしたいステップデータを選択して「コピー」ボタンをクリックします。

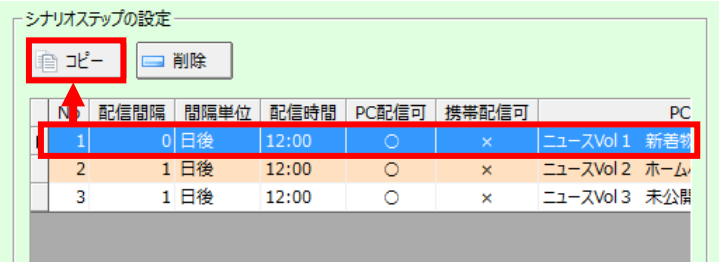


図 19-2. 12：コピーボタン

・確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、コピーが行われ、ステップの最後にデータが追加されます。(図 19-2. 13 参照)

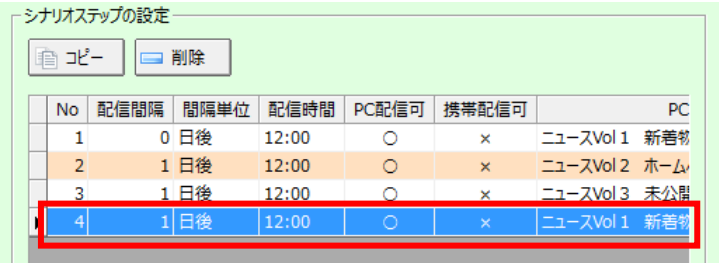


図 19-2. 13：コピー実行後

「削除」

・登録済みのステップデータをシナリオから削除します。

図 19-2.14 でステップリストから削除したいステップデータを選択して「削除」ボタンをクリックします。



図 19-2.14：削除ボタン

・確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、削除が行われます。

中間のステップを削除した場合、そのステップ以降のステップ No が繰り上がります。

仮にステップ No3 を削除した場合、ステップ No4 がステップ No3 となり、ステップ No4 が消滅します。

◆◆◆ステップ毎の設定◆◆◆

「配信間隔を設定してください」（必須入力）

◇配信間隔の設定◇

・配信開始または前回配信したステップからどの程度の期間を空けて配信するのかを設定します。

〇日後、〇週間後、〇ヶ月後、〇年後から設定します。

ステップ No1 設定時は「0 日後」、それ以外のステップ設定時は「1 日後」が初期セットされます。

・現在設定しているステップ No を-1 したものが前回ステップとなります。

ステップ No1 を設定している場合は、配信開始が前回ステップ扱いになります。

・ステップ No1 の配信間隔が 0 日後の場合、顧客を配信リストに登録すると、登録当日に配信が開始されます。

※顧客をシナリオの配信リストに登録した日が配信開始のタイミングとなります。
ただしシナリオが「非稼働」の場合は「稼働中」になるまでは配信開始が保留されます。
配信開始が設定されない限り、その顧客に対して配信が開始されません。

◇配信時間の設定◇

・配信時間を 0 時～23 時の間で設定します。

※本機能はローカルアプリケーションとして動作するため、配信を行う PC が起動していないと、スケジュール通りに配信が行われません。
配信 PC が稼働しているであろう時間を設定してください。

「配信内容を設定してください」（必須入力）

◇配信内容の選択◇

・該当ステップがメール送信される時のメール本文を原稿データから選択します。
シナリオ設定のシナリオ配信対象に対応する本文を選択してください。
例えばシナリオ配信対象を「PC のみ」にしていた場合は PC 用の選択ボタンをクリックします。

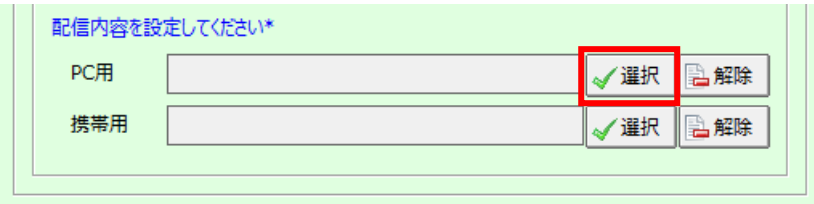


図 19-2.15：配信内容選択(PC 用)前

・図 19-2.16 原稿管理画面が表示されます。配信したい原稿を原稿リストから選択後、
19-2-H「選択」ボタンをクリックします。

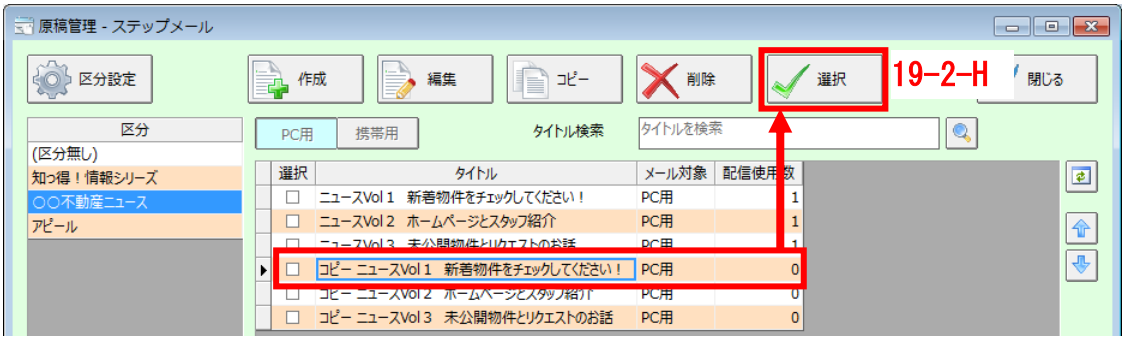


図 19-2.16：選択ボタン

・シナリオ設定画面に戻ります。
PC 用配信内容のテキストエリアに原稿のタイトルがセットされます。

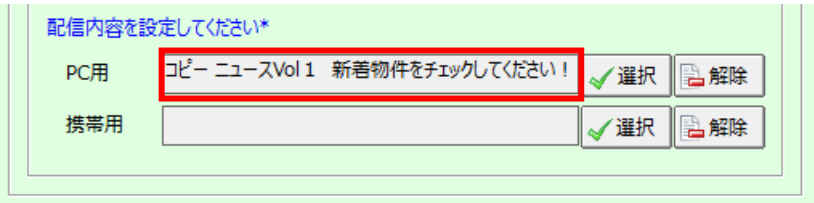


図 19-2.17：配信内容選択(PC 用)後

◇配信内容の解除◇

・設定ステップから原稿データを解除します。19-2-I「解除」ボタンをクリックします。
確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、原稿が解除されます。

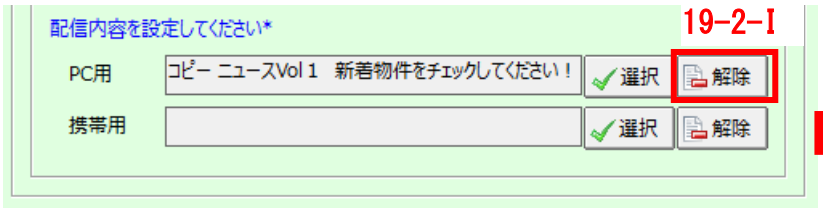


図 19-2. 18：配信内容解除(PC 用)前

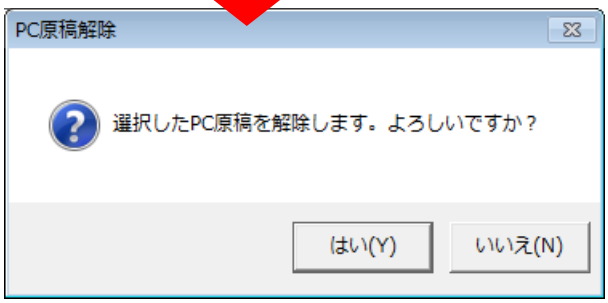


図 19-2. 19：確認メッセージ

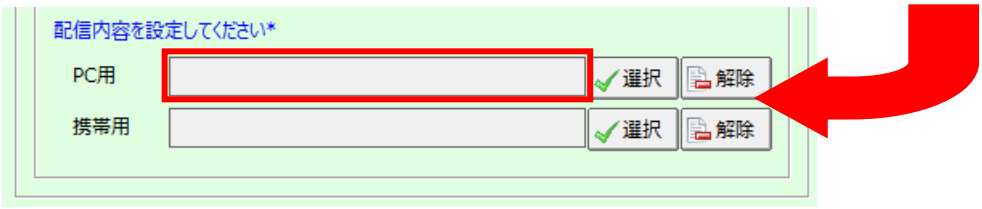


図 19-2. 20：配信内容解除(PC 用)後

※配信対象になっている原稿が設定されていない状態では、ステップの登録、更新時にエラーメッセージが表示され確定出来ません。確定したい場合は、代わりの原稿を用意してください。

◆◆◆設定終了◆◆◆

「保存」

・設定したシナリオおよびステップを保存します。保存条件である「シナリオ名」、「メールアカウント」、「シナリオ配信対象」、「ステップデータ」に不備がある場合はエラーメッセージが表示され、保存出来ません。

・保存後、シナリオ管理画面に戻ります。

・「作成」ボタンでシナリオを新規作成している場合は、メッセージが表示され、配信リスト設定画面に移動します。

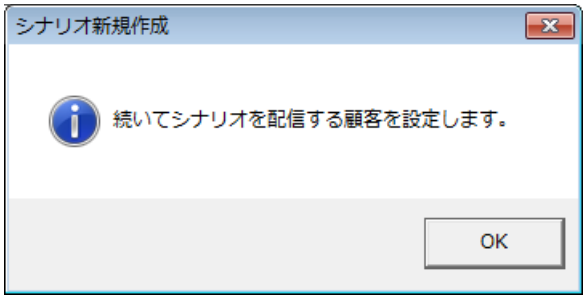


図 19-2.21：通知メッセージ

・配信が終了(現段階の最終ステップまで配信が完了)している顧客が存在するシナリオに新たに配信ステップを追加した場合(例えば 3 ステップから 4 ステップに変更)、確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、配信が終了している顧客に追加したステップのスケジュールが作成されます。(配信スケジュール画面で確認出来ます。)

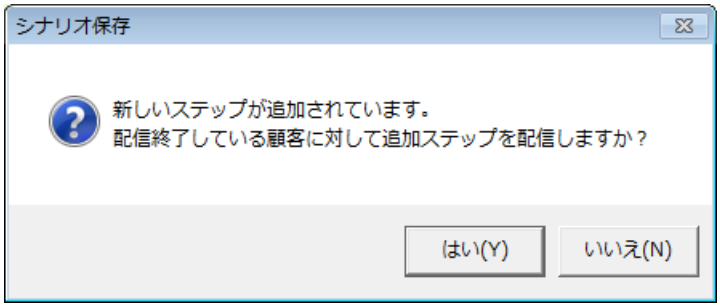


図 19-2.22：確認メッセージ

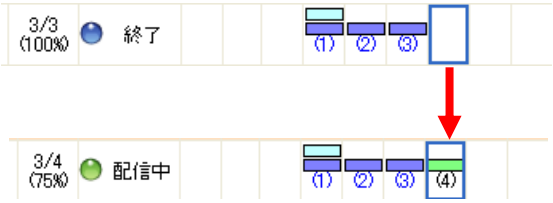


図 19-2.23：追加された配信スケジュール

「閉じる」

・シナリオ設定画面を閉じて、シナリオ管理画面に戻ります。
編集したシナリオが未保存の場合、保存を促すメッセージが表示されます。「はい」をクリックするとシナリオを保存後に画面を閉じます。

◆◆◆配信リスト画面へ直接移動◆◆◆

「配信リスト画面へ移動」

・登録済みのシナリオを設定している場合は、シナリオ管理画面に戻らずに直接、配信リスト設定画面に移動出来ます。

【 配信リストを設定する 】

シナリオを配信する顧客を設定します。この設定はシナリオ毎に行います。

①シナリオを新たに作成した場合は、シナリオ設定画面で保存後に自動的に移動します。

②既に登録済みのシナリオの配信顧客設定を行う場合は、設定したい配信リストセル内の青下線文字列にマウスを合わせると、マウスカーソルが変化するのでクリックします。(図 19-2.24 参照)
また、シナリオ設定画面から「配信リスト設定画面へ」ボタンをクリックすることでも移動出来ます。(図 19-2.25 参照)

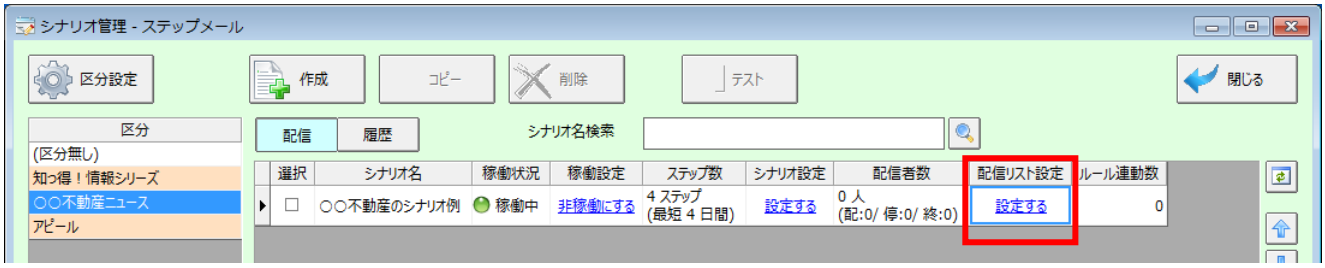


図 19-2.24：シナリオ管理画面 － 設定セル

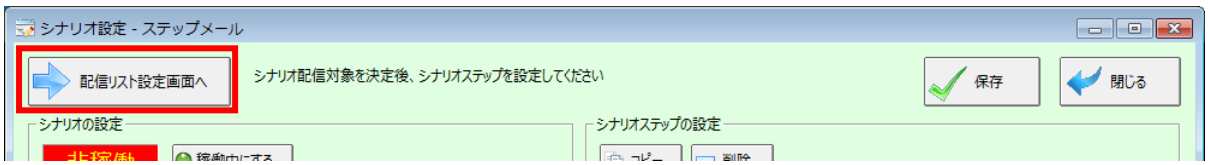


図 19-2.25：配信リスト設定画面へボタン

図 19-2.26 配信リスト設定画面が表示されます。

ここでは設定したシナリオを配信する顧客を選択します。顧客カルテに登録されている顧客データを使用します。

シナリオのみ登録して配信リストは作成したくない場合は、図 19-2.26 の 19-2-J「閉じる」ボタンでシナリオ管理画面に戻れます。



図 19-2.26：配信リスト設定画面

◆◆◆顧客配信リスト登録（手動登録）◆◆◆

図 19-2.27 の 19-2-K「手動登録」タブをクリックします。

設定中のシナリオを配信したい顧客を任意で追加します。

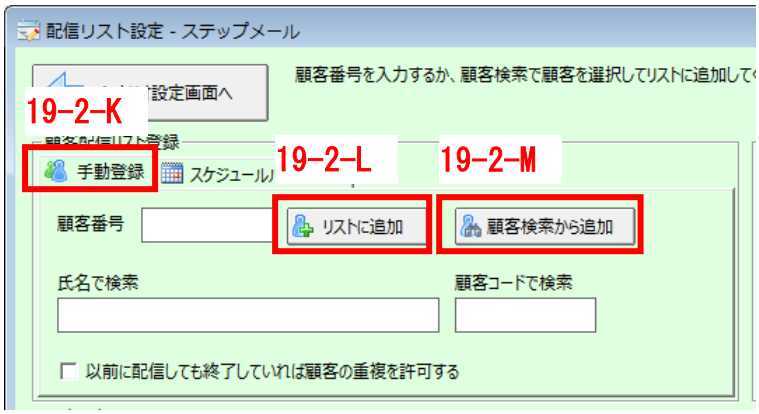


図 19-2.27：顧客配信リスト登録(手動登録タブ)

「顧客番号」、「リストに追加」

・設定中のシナリオを配信したい顧客の顧客番号を入力します。入力後、図 19-2.27 の 19-2-L「リストに追加」ボタンをクリックすると、顧客配信リストに顧客が追加されます。

「氏名で検索」、「顧客コードで検索」

・顧客番号が分からない場合は、氏名や顧客コードの一部を入力することで、該当する顧客をリストアップします。(図 19-2.28 参照)

そのリストから選択すると、顧客番号がセットされるので、図 19-2.27 の 19-2-L「リストに追加」ボタンをクリックすると、顧客配信リストに顧客が追加されます。

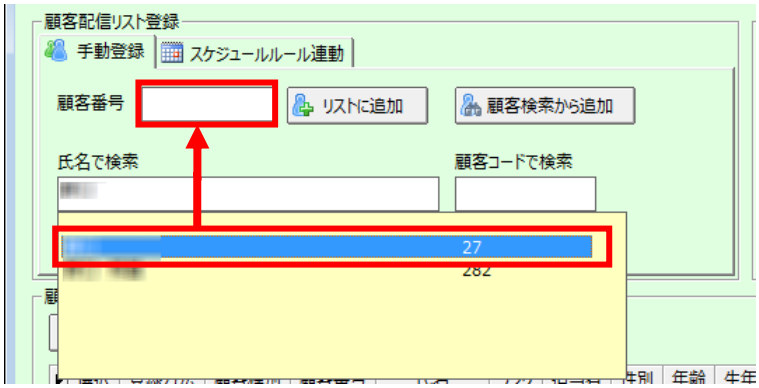


図 19-2.28：配信リスト設定画面 － 氏名で検索

「顧客検索から追加」

・一度に複数の顧客を配信リストに登録したい場合は、顧客検索画面を使用して追加します。
図 19-2.27 の 19-2-M「顧客検索から追加」ボタンをクリックすると、図 19-2.29 顧客検索画面が表示されます。

・メールアドレスが無い顧客を配信リストにセットしてもメールが送信できないため、図 19-2.30 の 19-2-O の検索条件でメールアドレスを持つ顧客を絞り込むか、19-2-P 顧客一覧の選択列で追加する顧客を選択してください。

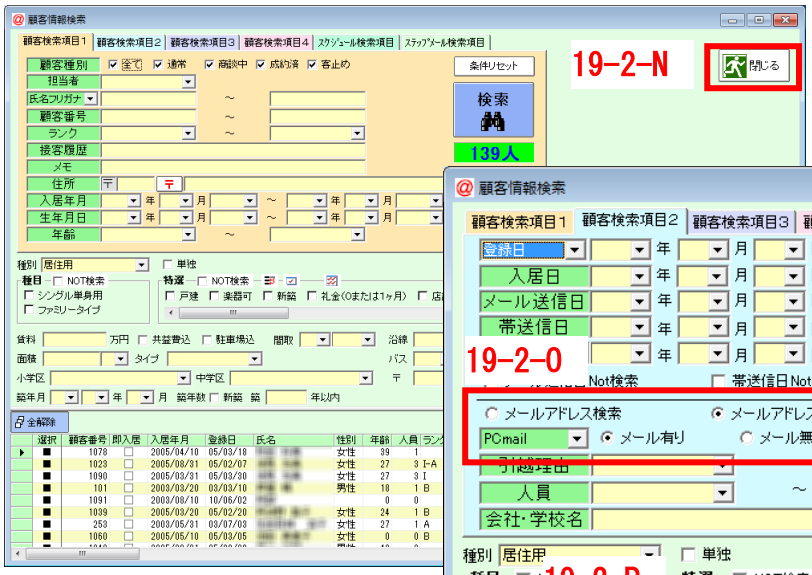


図 19-2.29：顧客検索画面

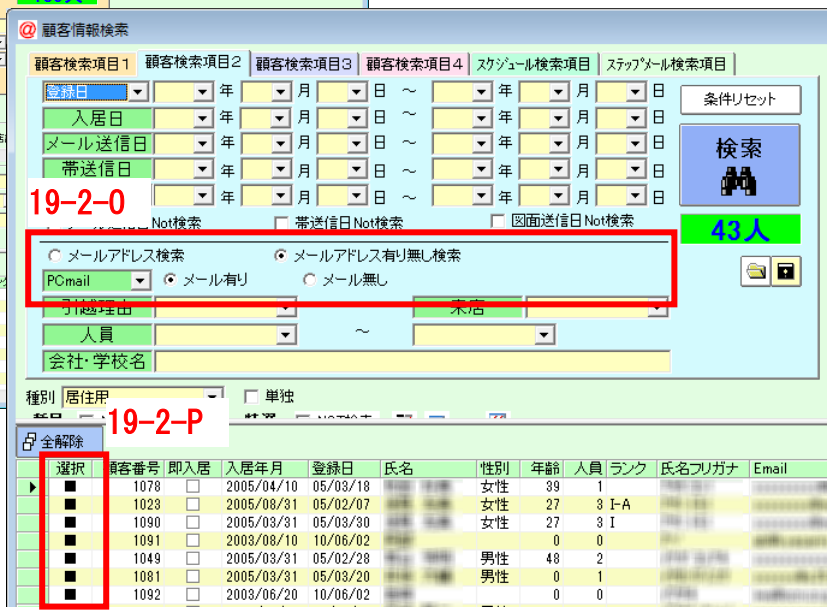


図 19-2.30：顧客検索画面 - Mail アドレス有り無し検索

・追加したい顧客を選択できたら、図 19-2.29 の 19-2-N「閉じる」ボタンをクリックします。
図 19-2.31 の確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、顧客配信リストに選択した顧客が追加されます。

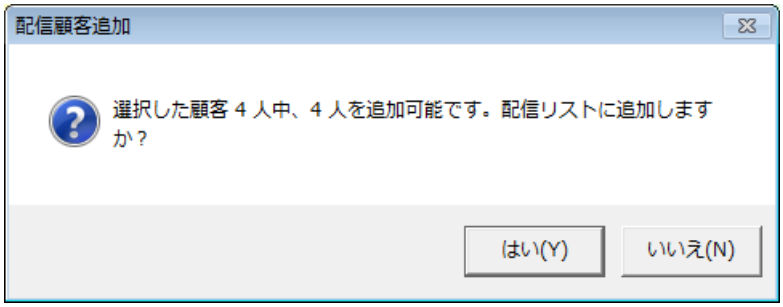


図 19-2.31：確認メッセージ

「以前に配信しても終了していれば顧客の重複を許可する」

・追加した顧客が既に配信リストに存在した場合、以前の配信が終了(最終ステップまで配信が完了)していれば、同じ配信を行えるようにします。
チェックが付いていれば許可、チェックが付いていない場合は、図 19-2.32 のエラーメッセージが表示され、重複している顧客は追加されません。
※スケジュールルール連動タブのチェックと共通です。

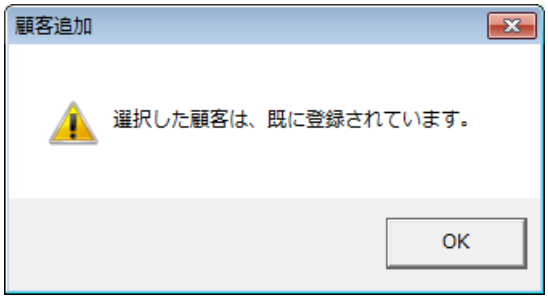


図 19-2.32：確認メッセージ

※基本、同じ顧客に同じ配信を行うことは好ましいことではありません。
ただし配信するメール本文の内容によっては、(例えば、メルマガ的な情報配信ではなく、「その後いかがですか？」などのフォローメールを、ステップメールを使って自動配信する場合など)同じ配信を行なっても問題無い場合も考えられます。

◆◆◆顧客配信リスト登録（スケジュールルール連動）◆◆◆

設定中のシナリオを配信したい顧客を、スケジュールマスタで設定したルール適用と連動させることにより、配信リストに自動登録できます。

スケジュールルールと連動しておくと、顧客を新規登録した後や、成約後にルール適用確認が表示され、適用すると自動的に顧客を配信リストに登録することができます。

登録後はステップメールを配信できるようになります。

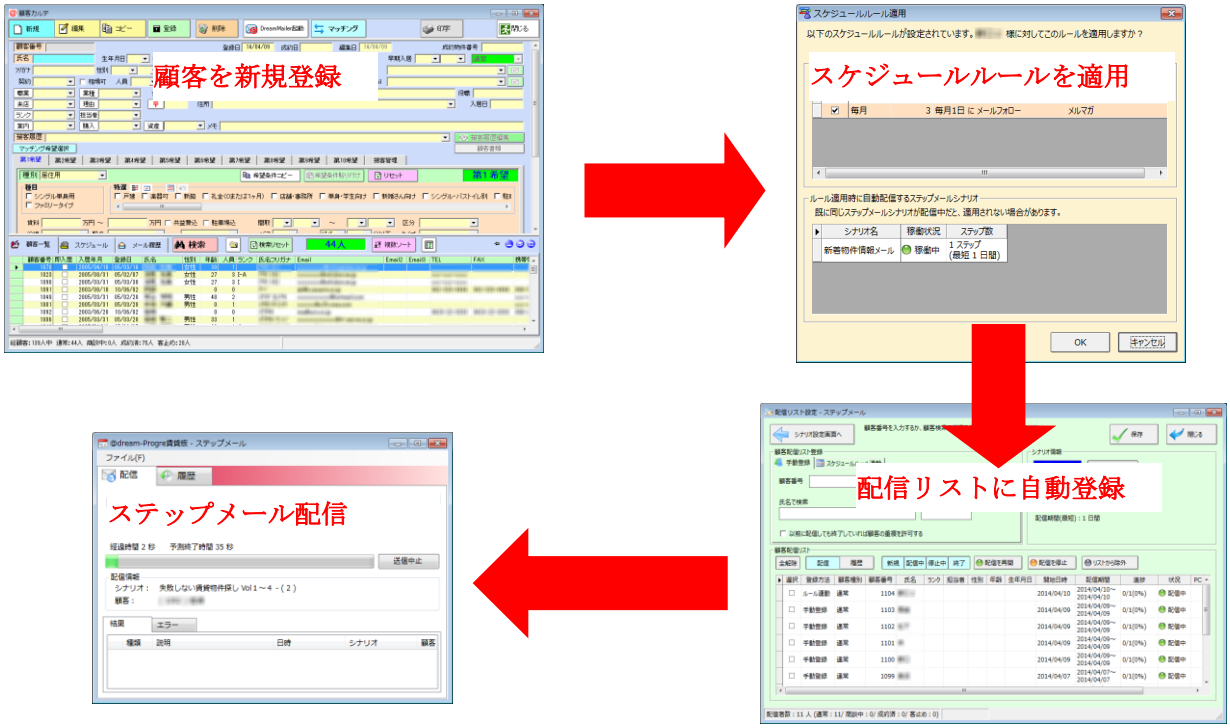


図 19-2.33：ステップメール ― スケジュールルール連動の流れ

1 つの配信シナリオに複数のスケジュールルールを設定可能で、シナリオを共有することもできます。

また、スケジュールマスタ側からも同様の設定ができます。

※ここで設定した後で、配信したい顧客にルールを適用させないと配信リストに登録されません。

※連動可能なスケジュールルールはルール周期が「固定条件」、動作の種類が「登録日」、「成約日」、「最終帯送信日」の場合に連動可能です。スケジュールマスタ及び、スケジュールルールの詳細については、11. スケジュールマスタ を参照してください。

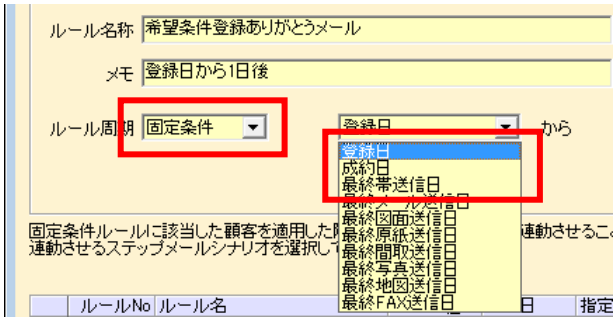


図 19-2.34：連動可能なスケジュールルールの条件（スケジュールマスタ画面）

図 19-2.35 の 19-2-Q「スケジュールルール連動」タブをクリックします。

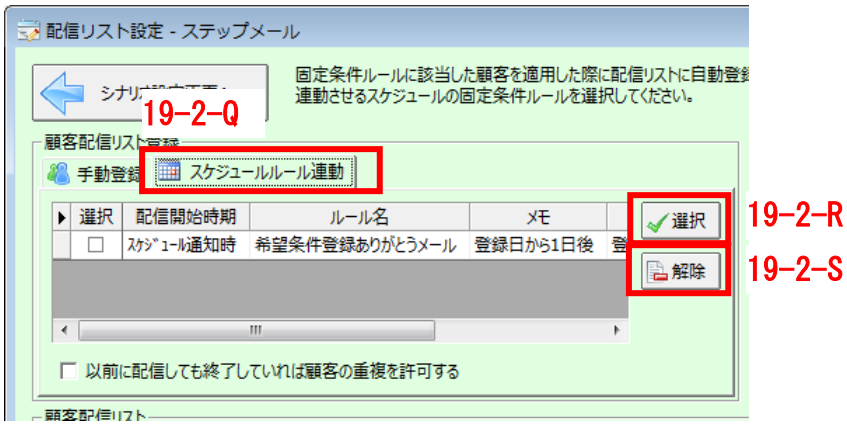


図 19-2.35：顧客配信リスト登録(スケジュールルールタブ)

図 19-2.35 の 19-2-R「選択」ボタンをクリックして、連動したいスケジュールルールを選択。
設定後、「保存」ボタンをクリックすると選択が確定します。

◆◆◆連動リストの概要◆◆◆

「選択」列

・連動リストデータに対し複数操作を行う場合に使用します。後述する連動リストデータの解除操作で使用されます。

「配信開始時期」列

・配信リストに自動登録する際のステップメール配信開始日時のタイミングを設定します。
配信開始時期列をクリックすると、項目が選択できます。(図 19-2.36 参照)

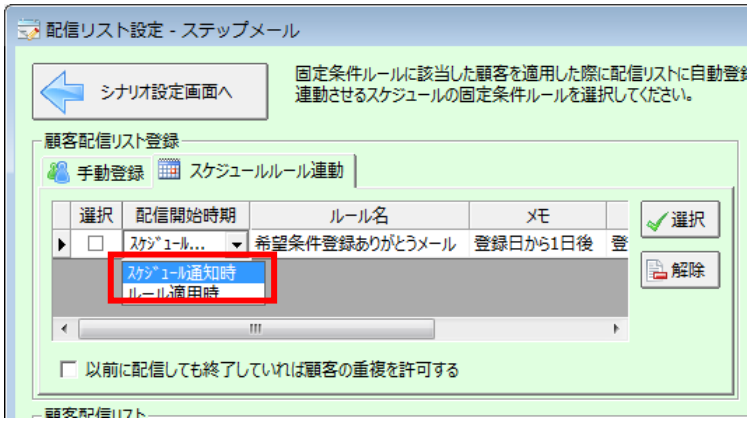


図 19-2.36：配信開始時期選択

○「スケジュール通知時」項目

スケジュールルールに設定された通知日付を開始日時として登録します。
例えば適用したルールの固定条件の動作が「登録日」から「1 日後」の場合、12 月 1 日に顧客を新規登録してルール適用すると、12 月 2 日が配信開始日となります。

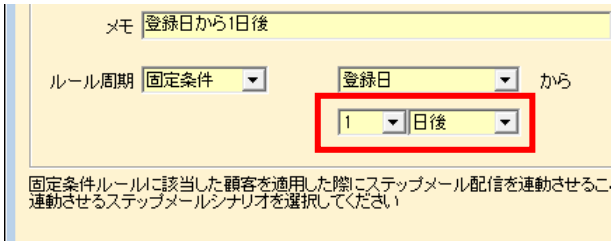


図 19-2.37：スケジュール通知時の配信開始日時(スケジュールマスタ画面)

○「ルール適用時」項目

スケジュールルールを適用した日を開始日時として登録します。

例えば 12 月 1 日に顧客を新規登録してルール適用すると、12 月 1 日が配信開始日となります。

「ルール名」列

・連動したスケジュールルールのルール名称が表示されます。

「メモ」列

・連動したスケジュールルールのメモが表示されます。

「固定条件」列

・連動したスケジュールルールの固定条件動作および通知日付が表示されます。

「指定時間」列

・連動したスケジュールルールの指定時間が表示されます。

この時間はステップメールの配信時間と連動していません。

「選択」

・設定中のシナリオと連動するスケジュールルールを選択します。

図 19-2.35 の 19-2-R「選択」ボタンをクリックすると、図 19-2.38 連動スケジュールルール選択画面が表示されます。

連動したいスケジュールルールをリストから選択後、19-2-T「選択」ボタンをクリックします。

複数のスケジュールルールを設定したい場合は、リストの選択列にチェックを入れてください。

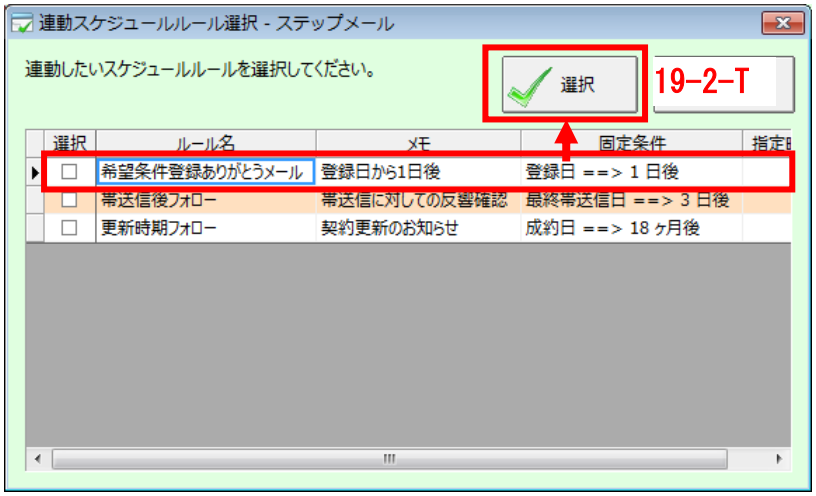


図 19-2.38：連動スケジュールルール選択画面

・連動可能なルールが存在しない場合は、図 19-2.39 のエラーメッセージが表示されます。

連動可能なスケジュールルールを作成してください。

※変更後、保存しないと確定しません。

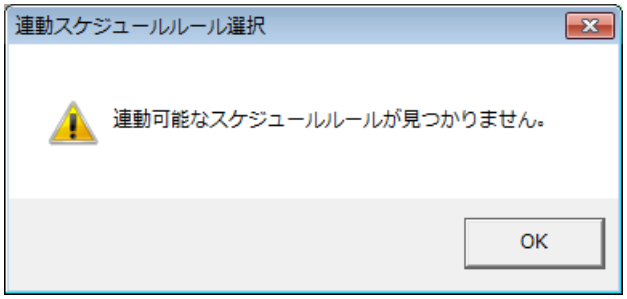


図 19-2.39：エラーメッセージ

「解除」

・設定中のシナリオから連動しているスケジュールルールを解除します。
一覧から解除したいスケジュールルールを選択して、図 19-2.35 の 19-2-S「解除」ボタンをクリックします。
スケジュールルール連動により、配信顧客をルール適用で自動登録しているか、していないかで表示するメッセージが変わります。
※変更後、保存しないと確定しません。

〇配信顧客をルール適用で自動登録していない

図 19-2.40 の確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、連動が解除されます。

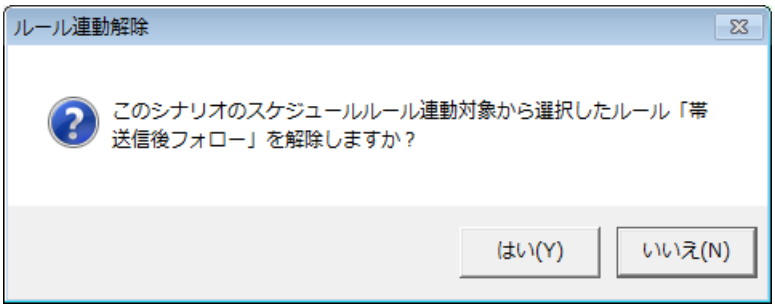


図 19-2.40：確認メッセージ

〇配信顧客をルール適用で自動登録している

自動登録した配信顧客を配信リストから除外します。

図 19-2.41 の確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、連動が解除されます。

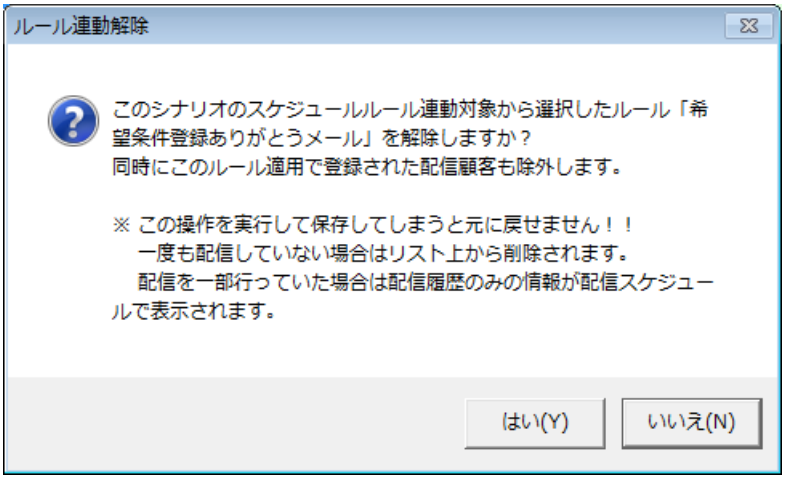


図 19-2.41：確認メッセージ

まとめて解除したい場合は、解除したい連動データの選択列にチェックを付け、同様に「解除」ボタンをクリックすると、一度に複数連動データが解除されます。

「以前に配信しても終了していれば顧客の重複を許可する」

・ルール適用した顧客が既に配信リストに存在した場合、以前の配信が終了（最終ステップまで配信が完了）していれば、同じ配信を行えるようにします。
チェックが付いていれば許可、チェックが付いていない場合は、適用していても重複している顧客は追加されません。
※手動登録タブのチェックと共通です。

◆◆◆シナリオ情報◆◆◆

設定中の配信リストのシナリオ概要を表示します。

「非稼働／稼働中にする」

・シナリオをステップメール配信させるか、させないかを設定します。
稼働中に設定するとこのシナリオの配信顧客に対し、一括でステップメール配信が開始され、非稼働にすると配信が一括停止します。
※変更後、保存しないと確定しません。

「シナリオ名」

・シナリオ設定画面で設定されたシナリオの識別名です。

「配信ステップ数」

・シナリオに設定されている配信ステップ数を表示します。

「配信期間(最短)」

・配信が終了する最短日数を表示します。

◆◆◆顧客配信リストの概要◆◆◆

設定中のシナリオを配信する顧客を一覧表示します。(図 19-2.42 参照)

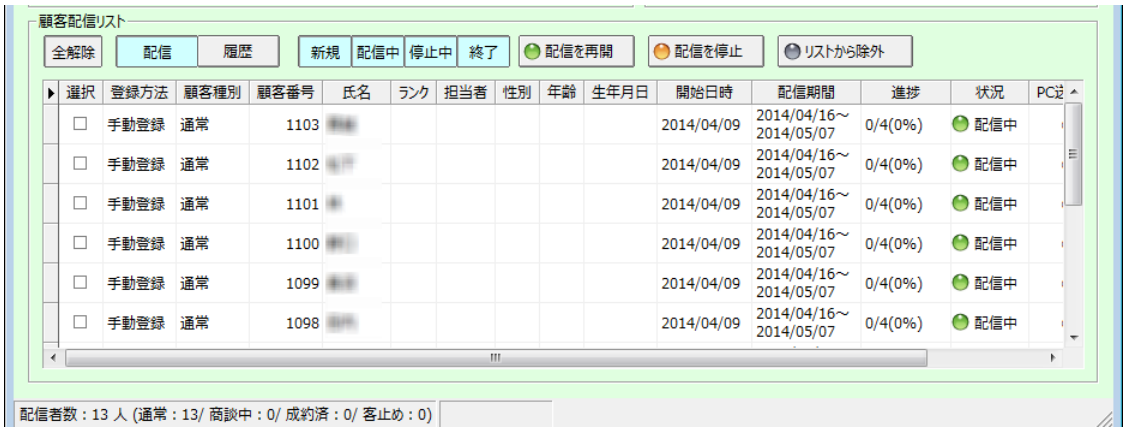


図 19-2.42：顧客配信リスト

「選択」列

・配信リストデータに対し複数操作を行う場合に使用します。後述する配信リストデータ操作で使用されます。

「登録方法」列

・どのように顧客配信リストに登録されたかを表します。顧客配信リスト登録欄の「手動登録」タブより登録した場合は「手動登録」、「スケジュールルール連動」タブのルール適用で登録された場合は「ルール連動」となります。

「顧客種別、顧客番号(顧客コード)、氏名、ランク、担当者、性別、年齢、生年月日」列

・顧客固有の情報です。顧客カルテで登録されている内容を表示します。

「開始日時」列

・顧客毎の配信リストに登録された日付が表示されます。開始日時がセットされると設定したステップ間隔を元に配信スケジュールが作成されます。
ただしシナリオが「非稼働」の場合は「稼働中」になるまでは配信開始が保留されます。
（開始日時が設定されません）

「配信期間」列

・顧客毎の配信スケジュールのステップ No1 から最終ステップまでの実際の配信日時を表示します。

・新たに追加した顧客の場合、保存した段階で日付が確定するため、日付が表示されません。

「進捗」列

・顧客毎のステップメール配信の配信スケジュールがどの程度進んでいるかを表示します。
送信済み数／ステップ数で進み具合を表しています。

「状況」列

・顧客毎のステップメール配信の状況を表示します。

「 配信中」・・・配信が行える状態です。

「 停止中」・・・配信を停止しています。

「 終了」・・・最終ステップまで配信が終了しています。

「 新規」・・・新しく配信リストに追加されました。

「PC 送信可」列

・PC 用メールを送信できる状態かを表示します。
顧客データの Email～Email3 にメールアドレスが存在し、送信許可されている場合、「○」になります。

「PC 送信可」列

・携帯用メールを送信できる状態かを表示します。
顧客データの携帯 Email にメールアドレスが存在し、送信許可されている場合、「○」になります。

「全選択」

・データ操作を全データに対して行う場合に使用します。
ボタンの表示が「全選択」の状態でクリックすると、配信リストの全ての選択列にチェックが付きます。
ボタンの表示が「全解除」の状態でクリックすると、配信リストの全ての選択列のチェックが外れます。

「配信を再開」

・「状況」列が「停止中」になっている顧客の配信を「配信中」にします。それ以外の状態になっている顧客の状況は変更されません。
※変更後、保存しないと確定しません。

「配信を停止」

・「状況」列が「配信中」になっている顧客の配信を「停止中」にします。それ以外の状態になっている顧客の状況は変更されません。
※変更後、保存しないと確定しません。

「リストから除外」

・設定中のシナリオの配信顧客を配信リストから除外します。
クリックすると、図 19-2.43 の確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、選択した顧客をリストから除外します。

※変更後、保存しないと確定しません。

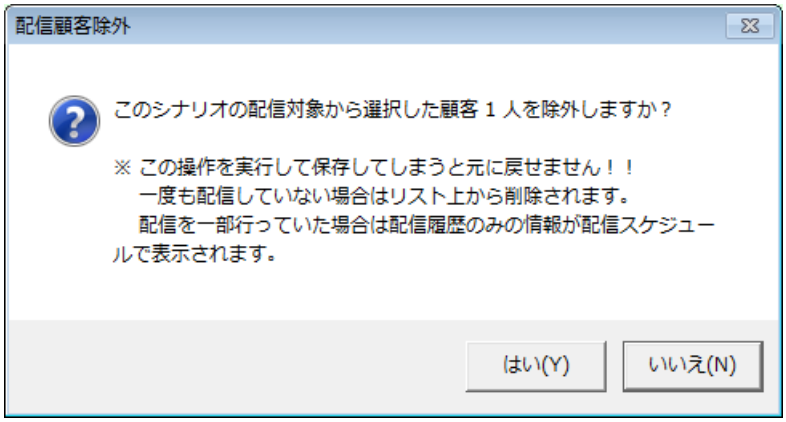


図 19-2.43：確認メッセージ

・除外を行うと配信スケジュールが削除されます。一度も選択した顧客に配信を行なっていない場合は、配信スケジュール画面上から消えます。除外した顧客に一部配信を行なっていた場合は、配信履歴のみが配信スケジュール画面上に表示されます。

・除外した後で、同じ顧客を再度追加することは可能ですが、配信されるステップはステップ No1 から行われます。

「配信/履歴」

・「新規/配信中/停止中/終了」で配信状況の切替が可能です。(配信切替時のみ利用可能)

・「完全に削除」でシナリオに紐づいた配信履歴を抹消します。

前述の「リストから除外」では完全に履歴は削除されません。完全に抹消する場合は「リストから除外」操作後、「完全に削除」を行ってください。

◆◆◆設定終了◆◆◆

「保存」

・設定した配信リストを保存します。保存後、シナリオ管理画面に戻ります。

※設定済みのシナリオのステップ数と間隔に従い、配信リストに設定された顧客の配信スケジュールが作成され、ステップメールを配信する準備が整いました。
そのまま配信を行う場合は、シナリオ管理画面で稼動状態を「稼働中」になっていることを忘れずに確認してください。

「閉じる」

・配信リスト設定画面を閉じ、シナリオ管理画面に戻ります。変更した配信リストが未保存の場合、保存を促すメッセージが表示されます。「はい」をクリックすると配信リストを保存後に画面を閉じます。

◆◆◆シナリオ設定画面へ直接移動◆◆◆

「シナリオ設定画面へ移動」

・登録済みのシナリオを設定している場合は、シナリオ管理画面に戻らずに直接、シナリオ設定画面に移動出来ます。

【 シナリオをコピーする 】

登録済みのシナリオデータをコピーします。

図 19-2.44 シナリオ管理画面でシナリオリストからコピーしたいシナリオデータを選択して「コピー」ボタンをクリックします。

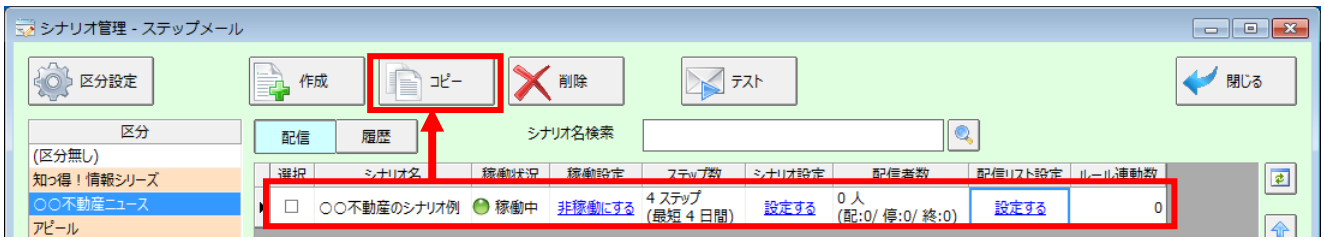


図 19-2.44：コピーボタン

確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、コピー元のシナリオに配信リストが設定されていた場合、そのリストもコピーを行うかどうかのメッセージが表示されます。(図 19-2.45 参照)

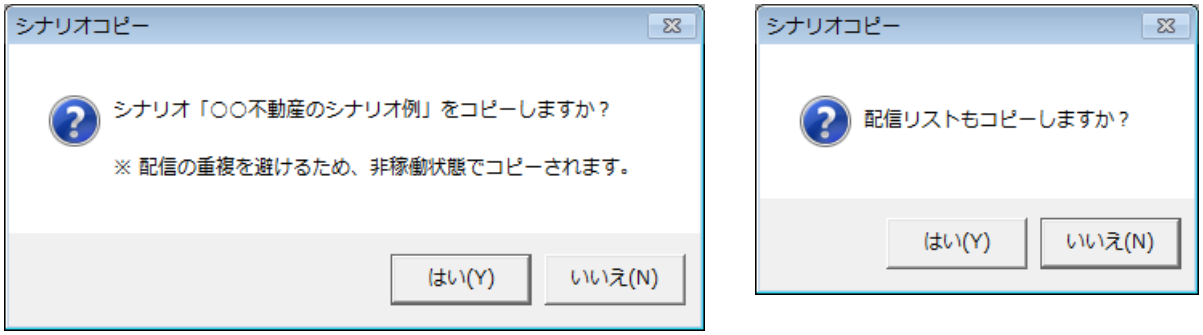


図 19-2.45：確認メッセージ

「はい」をクリックすると、コピーが行われ、シナリオ名に「コピー」と付いたデータが追加されます。配信リストもコピーしていた場合は、配信リストにコピー元の配信顧客も「配信中」の状態でコピーされています。(図 19-2.46 参照)



選択	シナリオ名	稼働状況	稼働設定	ステップ数	シナリオ設定	配信者数	配信リスト設定	ルール連動数
☐	○○不動産のシナリオ例	稼働中	非稼働にする	3 ステップ (最短 3 日間)	設定する	7 人 (配:7/ 停:0/ 終:0)	設定する	0
☐	コピー ○○不動産のシナリオ例	非稼働	稼働中にする	3 ステップ (最短 3 日間)	設定する	7 人 (配:7/ 停:0/ 終:0)	設定する	0

図 19-2.46：コピー後

まとめてコピーしたい場合は、コピーしたいシナリオデータの選択列にチェックを付け、同様に「コピー」ボタンをクリックすると、一度に複数シナリオおよび配信リストがコピーされます。

【 シナリオを削除する 】

登録済みのシナリオデータを削除します。

図 19-2.47 シナリオ管理画面でシナリオリストから削除したいシナリオデータを選択して「削除」ボタンをクリックします。

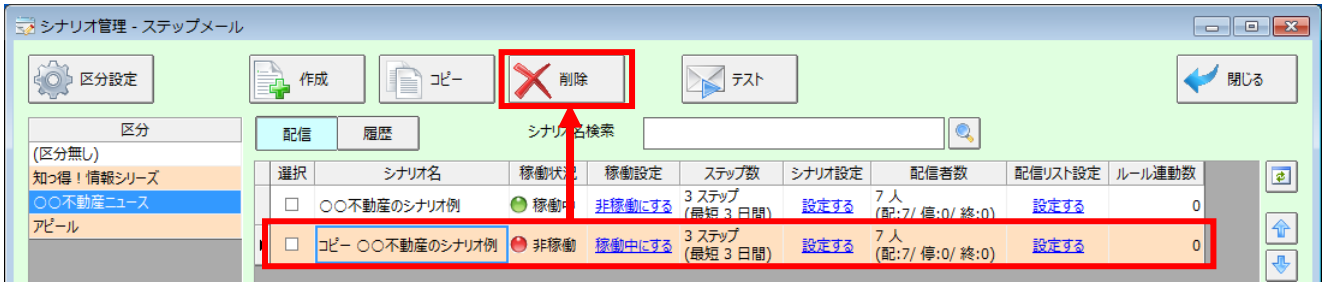


図 19-2.47：削除ボタン

※削除すると、そのシナリオデータは復元出来ません。十分に注意してください。

図 19-2.48 の確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、削除が行われます。

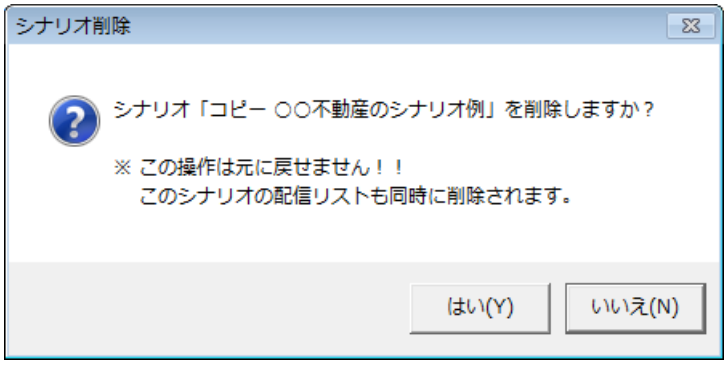


図 19-2.48：確認メッセージ

まとめて削除したい場合は、削除したいシナリオデータの選択列にチェックを付け、同様に「削除」ボタンをクリックすると、一度に複数シナリオが削除されます。

削除を行うと配信スケジュールも削除されます。一度も選択した顧客に配信を行なっていない場合は、配信スケジュール画面上から消えます。
削除したシナリオの配信顧客に一部配信を行なっていた場合は、配信履歴のみが配信スケジュール画面上に表示されます。

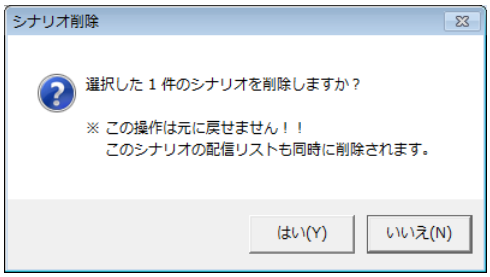
上記の削除はデータベース自体からは削除はされていません。
以下は完全に削除する場合の手順になります。

図 19-2.49 のように削除を実施するシナリオを選択して「削除」をクリックします。



図 19-2.49：シナリオ確認-削除

図 19-2.50 のようなメッセージが 2 回表示されるので両方共に「はい」を選択します。



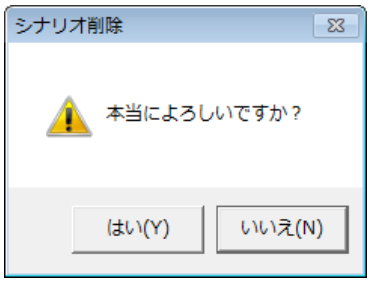


図 19-2.50：削除時表示メッセージ群

図 19-2.51 の「配信/履歴」のうち、「履歴」をクリックします。



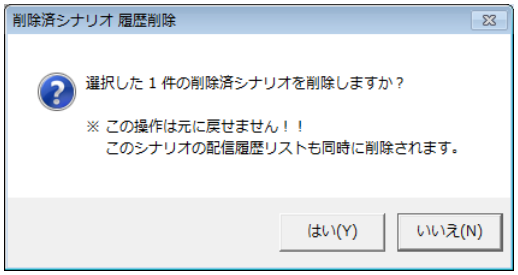
図 19-2.51：「履歴」に切り替え

図 19-2.52 のように履歴にデータが表示されるので選択し「履歴削除」をクリックします。



図 19-2.52：「履歴」に切り替え

図 19-2.53 のようなメッセージが 2 回表示されるので両方共に「はい」を選択します。



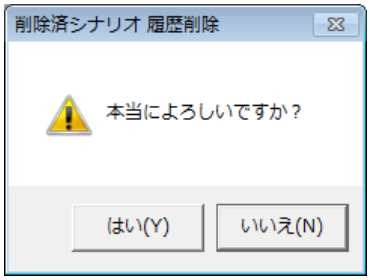


図 19-2.53：削除済みシナリオ 削除メッセージ群

これで履歴は完全に削除されます。

履歴の完全削除操作は以上です。

【 シナリオをテスト送信する 】

登録済みのシナリオデータをテスト送信します。
シナリオ毎に設定したメールアカウント宛にステップ数分のメールを送信します。
実際に登録した顧客に配信する前に、配信内容に問題が無いか確認出来ます。

図 19-2.54 シナリオ管理画面でシナリオリストからテストしたいシナリオデータを選択して、
「テスト」ボタンをクリックします。

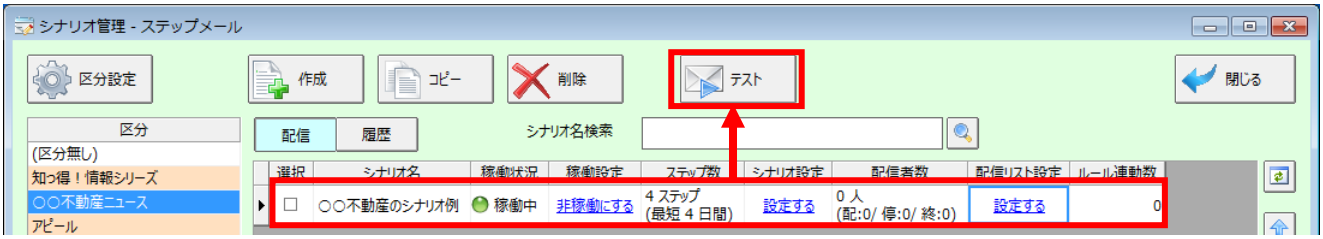


図 19-2.54：テストボタン

図 19-2.55 の確認メッセージが表示されるので「はい」をクリックすると、テスト送信が行われます。
※稼動状態が非稼働でも送信可能です。

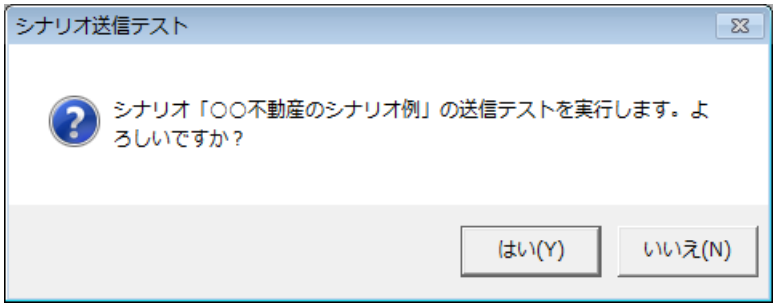


図 19-2.55：確認メッセージ

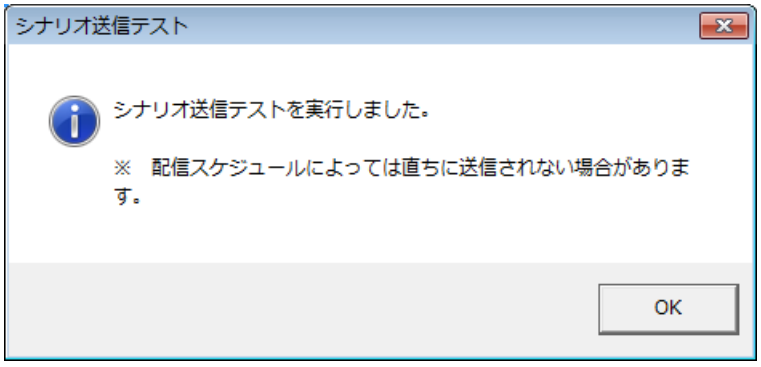


図 19-2.56：通知メッセージ

まとめてテスト送信したい場合は、テスト送信したいシナリオデータの選択列にチェックを付け、
同様に「テスト」ボタンをクリックすると、一度に複数シナリオがテスト送信されます。

実際の送信は別プロセスで動作している送信モジュールで行われます。
送信モジュールが現在、他の送信を行なっている場合はその処理が完了した後に実行されます。
また、テスト送信を実行した PC が配信 PC で無い場合は、配信 PC がステップメール配信可能な状態になっているか確認してください。

送信モジュールから送信が実行されます。(図 19-2.57 参照)

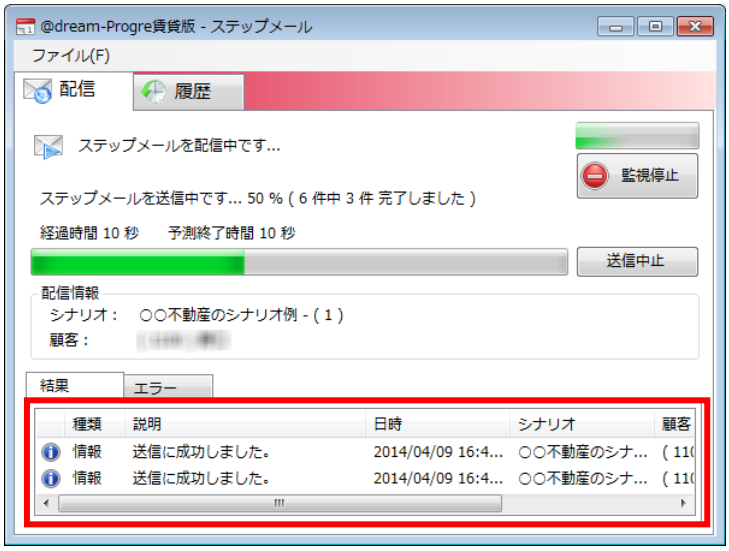


図 19-2.57：送信モジュール － テスト送信

送信内容をドリームメーラーで受信してみます。
配信回数３回のシナリオのテスト送信を行なったのでメールが３通届いています。

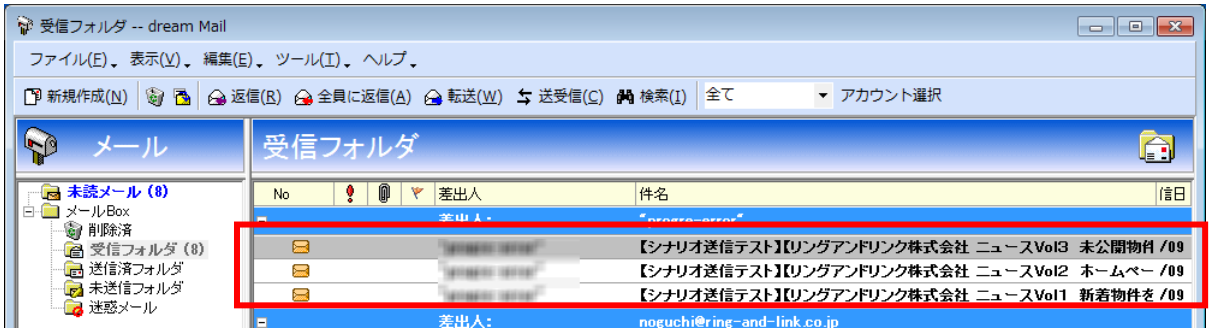


図 19-2.58：ドリームメーラーでテスト送信されたメールを受信

【 シナリオの表示順番を変更する 】

表示されるシナリオの順番を変更することが出来ます。

シナリオリストより順番を変更したいシナリオデータを選択し、図 19-2.59 の 19-2-U「↑」「↓」ボタンをクリックすると、順番が変更されます。



選択	シナリオ名	稼働状況	稼働設定	ステップ数	シナリオ設定	配信者数	配信リスト設定	ルール連動数
☐	失敗しない賃貸物件探し Vol 1～4	非稼働	稼働中にする	4 ステップ (最短 29 日間)	設定する	13 人 (配:12/ 停:0/ 終:1)	設定する	0
☐	賃貸よくある質問 Vol 1～3	非稼働	稼働中にする	3 ステップ (最短 22 日間)	設定する	5 人 (配:5/ 停:0/ 終:0)	設定する	0
☐	これが物件探しのリアル！	非稼働	稼働中にする	5 ステップ (最短 36 日間)	設定する	5 人 (配:4/ 停:1/ 終:0)	設定する	0

図 19-2.59：表示順番変更前



選択	シナリオ名	稼働状況	稼働設定	ステップ数	シナリオ設定	配信者数	配信リスト設定	ルール連動数
☐	賃貸よくある質問 Vol 1～3	非稼働	稼働中にする	3 ステップ (最短 22 日間)	設定する	5 人 (配:5/ 停:0/ 終:0)	設定する	0
☐	これが物件探しのリアル！	非稼働	稼働中にする	5 ステップ (最短 36 日間)	設定する	5 人 (配:4/ 停:1/ 終:0)	設定する	0
☐	失敗しない賃貸物件探し Vol 1～4	非稼働	稼働中にする	4 ステップ (最短 29 日間)	設定する	13 人 (配:12/ 停:0/ 終:1)	設定する	0

図 19-2.60：表示順番変更後

１９－３　【 配信スケジュールを管理する 】

この画面では各シナリオの配信リストに登録された顧客の配信スケジュール管理を主に行います。
メインメニューから起動するとまず表示される画面です。
画面表示時は本日を含む月のステップメール配信状況を図 19-3.1 の 19-3-A「配信スケジュールリスト」に表示します。

※シナリオと配信リストデータが作成されていないと、一覧には何も表示されません。

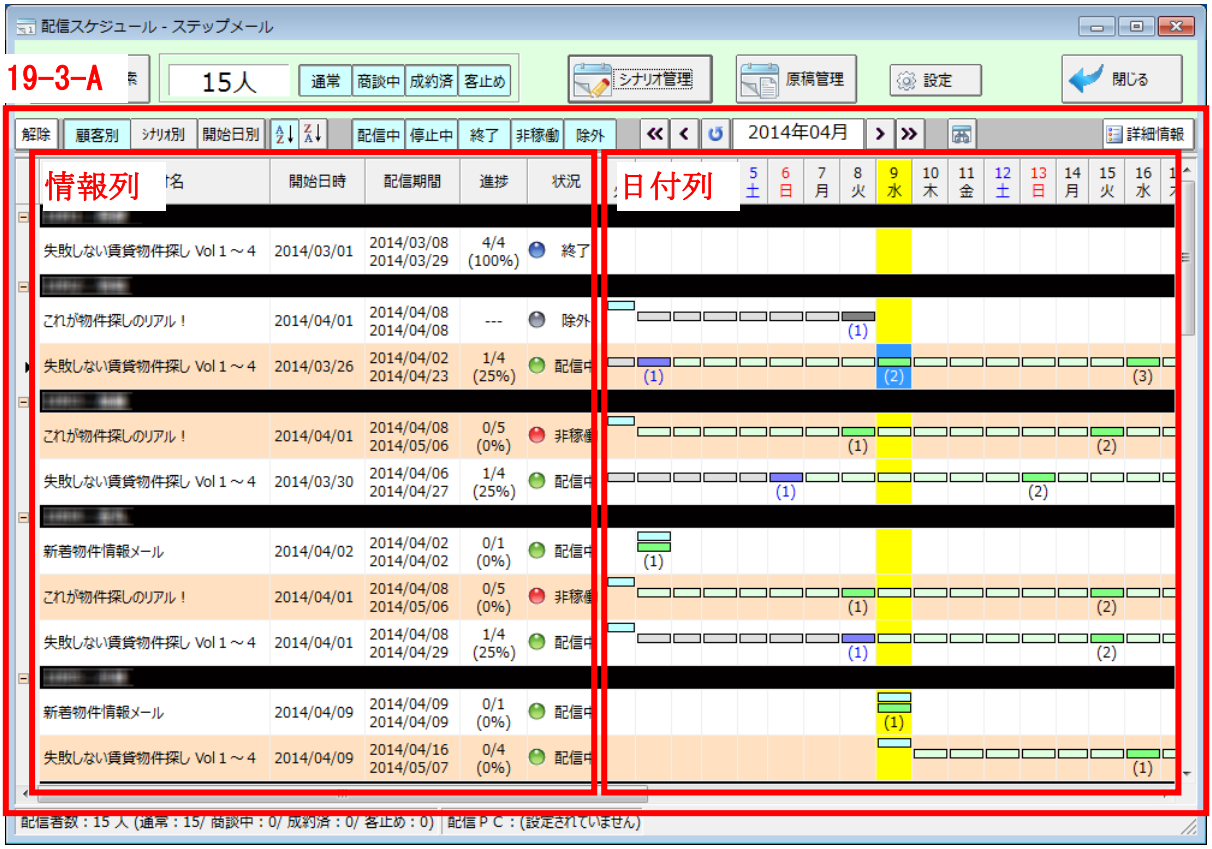


図 19-3.1：配信スケジュール画面

◆◆◆配信スケジュールリストの概要◆◆◆

配信スケジュールリストは情報列と日付列の２つに分かれており、情報列は常に同じ内容が表示されているのに対し、日付列は表示年月毎に内容が切り替わります。なお、リストの列の移動は行えません。

「番号：顧客名」列

・配信顧客の顧客番号(顧客コード)と氏名を表示します。

「シナリオ名」列

・配信しているシナリオ名を表示します。

「開始日時」列

・配信しているシナリオの配信リストに顧客が登録された日付が表示されます。
　ステップ間隔の基点となる日付です。
・顧客を配信リストに登録する際にシナリオの稼動状態が「非稼働」だった場合は、(未設定)となり、配信が保留されています。(スケジュールが作成されていません)

「配信期間」列

・顧客毎の配信スケジュールのステップNo1から最終ステップまでの実際の配信日時を表示します。

・顧客を配信リストに登録する際にシナリオの稼動状態が「非稼働」だった場合は、スケジュールが作成されていないため、表示されていません。

「進捗」列

・顧客毎のステップメール配信の配信スケジュールがどの程度進んでいるかを表示します。
送信済み数／ステップ数で進み具合を表しています。

「状況」列

・顧客毎のステップメール配信の状況を表示します。

「 配信中」

配信が行える状態です。

この状態のシナリオ、顧客にのみステップメール配信が行われます。

「 停止中」

配信を停止しています。

任意の顧客の配信を停止させている場合にこの状態になります。

システム側で配信に問題があった顧客を「停止中」にする場合もあります。

この状態の顧客へステップメール配信は行われません。

「 終了」

最終ステップまで配信が終了しています。

シナリオに設定されたステップが全て完了した状態です。これ以上配信はされません。

ステップが新しく追加されると、「配信中」に戻すことが可能です。

「 非稼働」

シナリオが稼動していません。

シナリオの稼動状態が「非稼働」の場合にこの状態になります。

このシナリオを配信している顧客の配信を全て禁止します。

「 除外」

シナリオから除外されているか、シナリオが削除されています。

ステップメール配信が１回でも行われた場合は、配信履歴のみ表示されます。

配信されなかった配信スケジュールは削除されます。

１回も配信されていない場合は、このリストに表示されなくなります。

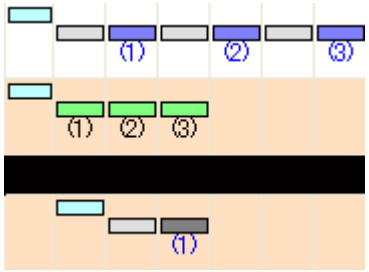
「日付」列

・図 19-3.2 の 19-3-B「表示年月」で指定された年月の 1 ヶ月分の日付を列で表示します。
土曜日は青、日曜日は赤で表示されます。



図 19-3.2：表示年月

・表示年月内に配信スケジュールが存在した場合、それぞれの配信日に図形を描画します。



水色の図形・・・開始日時を表現しています。
青色の図形・・・送信済みのステップを表現しています。
緑色の図形・・・未送信のステップを表現しています。
灰色の図形・・・除外されたステップを表現しています。

図 19-3.3：図形の意味

・薄い灰色および薄い緑色は開始日時～各ステップ間のつながりを表現しています。
・(数字)が描画されている場合、そのシナリオの配信ステップ番号を表しています。
(数字)が描画されている場所を左クリックすると、そのステップの情報を見ることが出来ます。
19-3【 配信ステップ毎の詳細情報を確認する 】を参照してください。

【 日付列を切り替える 】

図 19-3.4 の 19-3-C「表示年月」コントロールを操作することにより日付列に表示される日付を変更できます。



図 19-3.4：表示年月コントロール

« または » ボタンをクリックすると、現在表示されている年の前後の年に切り替わります。
‹ または › ボタンをクリックすると、現在表示されている月の前後の月に切り替わります。
↺ をクリックすると、本日が含まれる年月に戻せます。
表示年月部分をクリックすると入力出来る状態になります。任意の年月を入力すると指定された年月に切り替わります。



※西暦年 / 月という形式で入力してください。
※表示可能な範囲は 2000 年 1 月～2999 年 12 月までです。

【 配信スケジュールリストをグループ化する 】

図 19-3.5 の 19-3-D「グループ化」コントロールを操作することにより、配信スケジュールリストの
の表示方法を変えることが出来ます。

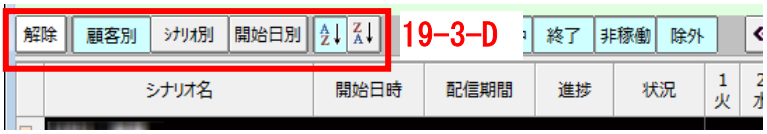


図 19-3.5：グループ化コントロール

顧客別 ボタンをクリックすると配信顧客毎にリストがまとめられます。顧客毎に何のシナリオが配信されているかを把握するのに役立ちます。(図 19-3.6 参照)

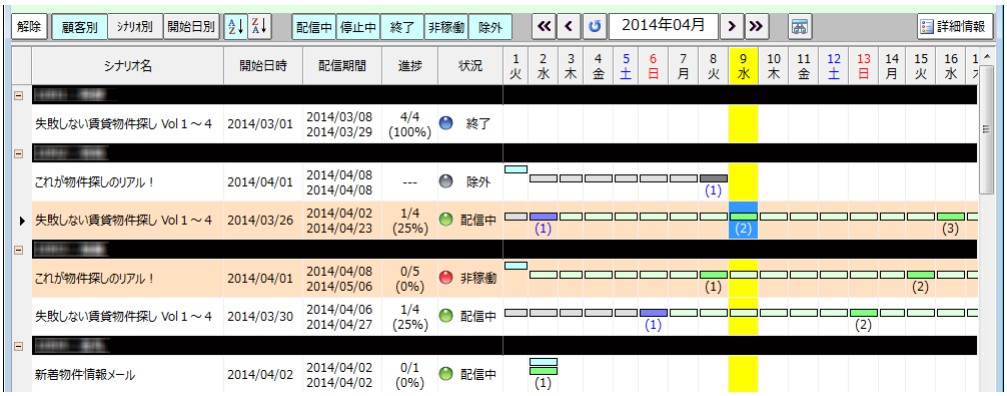


図 19-3.6：顧客別にグループ化

ｼﾅﾘｵ別 ボタンをクリックすると配信シナリオ毎にリストがまとめられます。シナリオ毎に配信している顧客の状況を把握するのに役立ちます。(図 19-3.7 参照)

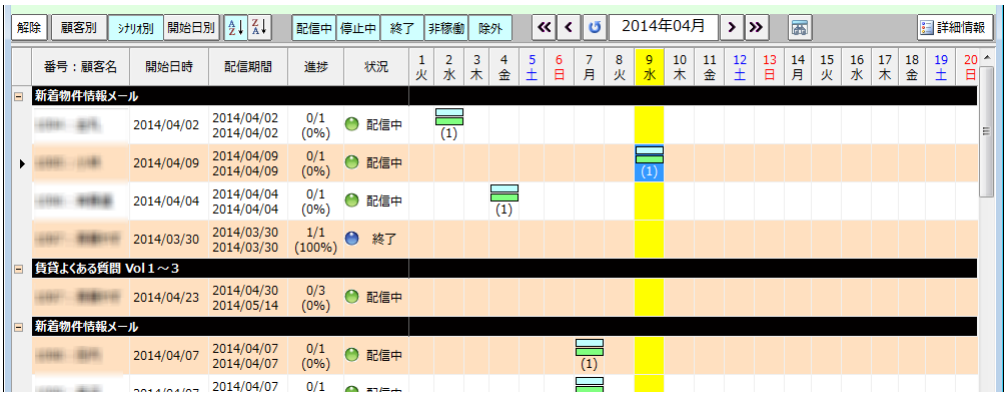


図 19-3.7：シナリオ別にグループ化

開始日別 ボタンをクリックすると開始日毎にリストがまとめられます。配信を開始した順番で配信状況を把握するのに役立ちます。(図 19-3.8 参照)

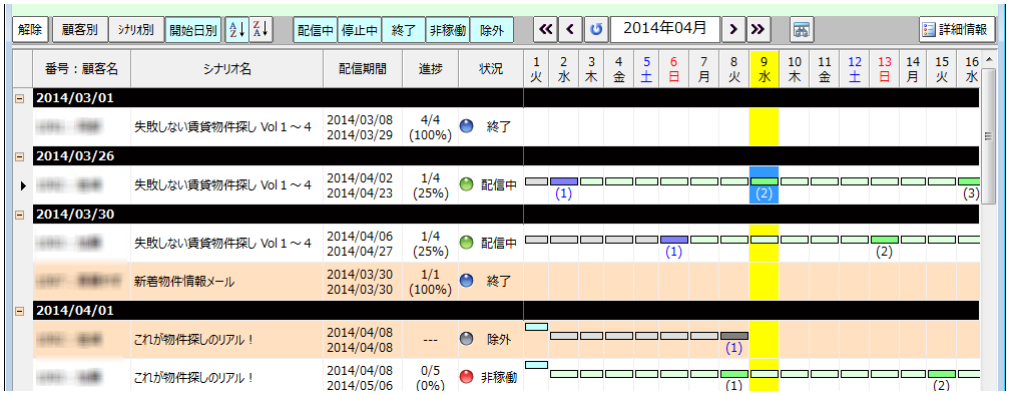


図 19-3.8：開始日別にグループ化

解除 ボタンをクリックするとグループ化を解除します。通常の一覧の形でリスト表示されます。(図 19-3.9 参照)

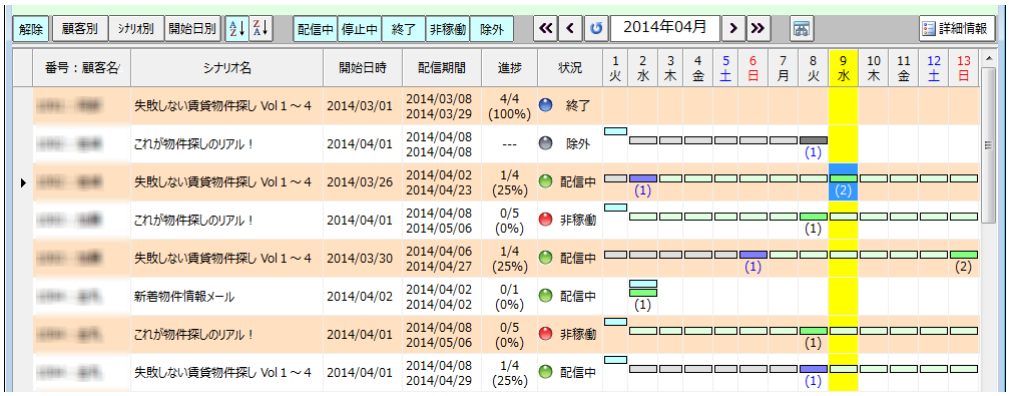


図 19-3.9：グループ化を解除

AZ↓ または ZA↓ ボタンをクリックすると、グループ化した項目を昇順または降順でソートします。(図 19-3.10、図 19-3.11 参照)



図 19-3.10：顧客別 - 昇順でソート



図 19-3.11：顧客別 - 降順でソート

【 配信スケジュールリストを状況で絞り込む 】

図 19-3.12 の 19-3-E「状況フィルタ」コントロールを操作することにより、配信スケジュールリストに表示する内容を状況単位に絞り込むことが出来ます。

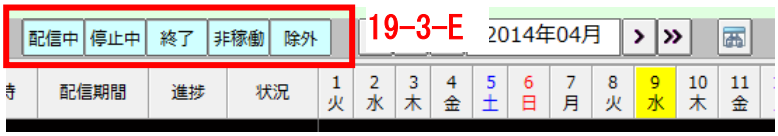


図 19-3.12：状況フィルタコントロール

ボタンが ON の状態（ボタンが水色）で表示、OFF の状態（ボタンが灰色）で非表示です。

「配信中」・・・状況列が「配信中」のデータをリストに表示／非表示します。

「停止中」・・・状況列が「停止中」のデータをリストに表示／非表示します。

「終了」・・・・状況列が「終了」のデータをリストに表示／非表示します。

「非稼働」・・・状況列が「非稼働」のデータをリストに表示／非表示します。

「除外」・・・・状況列が「除外」のデータをリストに表示／非表示します。

例として、「停止中」、「終了」、「非稼働」、「除外」ボタンを OFF にすると、リストには「配信中」のデータだけが表示されます。（図 19-3.13、図 19-3.14 参照）



図 19-3.13：フィルタ変更前



図 19-3.14：フィルタ変更後

【 配信スケジュールリストの文字列情報で検索する 】

図 19-3.15 の 19-3-F「文字列検索」ボタンをクリックすると、図 19-3.16 文字列検索ダイアログが表示されます。

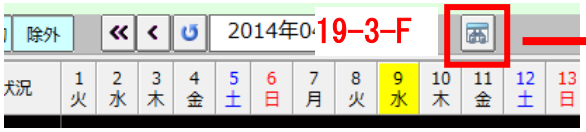


図 19-3.15：文字列検索ボタン

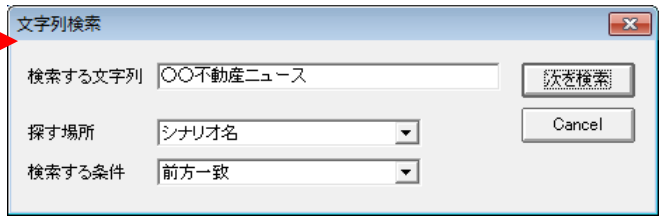


図 19-3.16：文字列検索ダイアログ

「検索する文字列」で検索したい文字列を入力します。

「探す場所」でリストの列を指定します。

「検索する条件」で前方一致か完全一致かを指定します。

「次を検索」ボタンをクリックすると、条件に一致する場合、その場所へカーソルが移動します。（図 19-3.17 参照）

「Cancel」ボタンをクリックすると、ダイアログを閉じます。

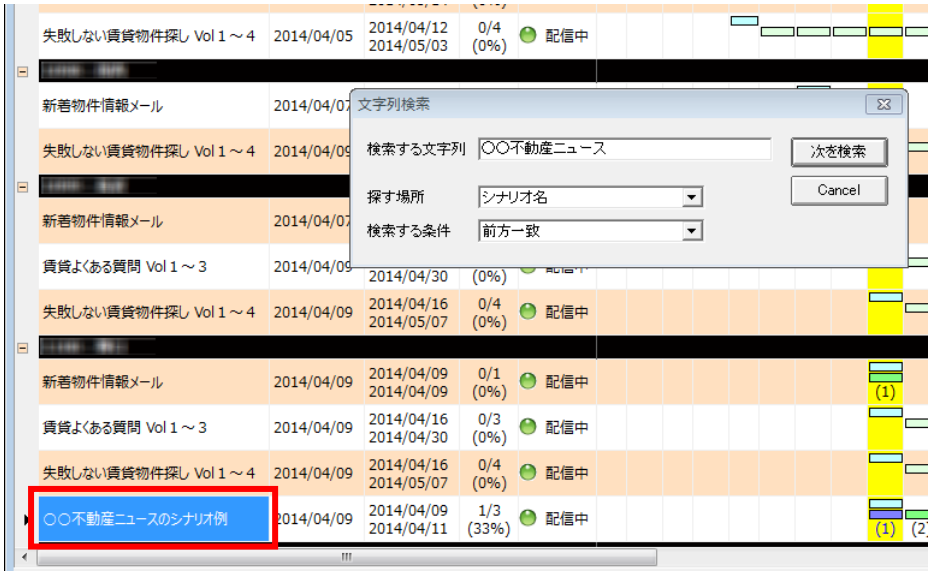


図 19-3.17：文字列検索結果

【 配信ステップ毎の詳細情報を確認する 】

図 19-3.18 の 19-3-G「詳細情報」ボタンをクリックすると、図 19-3.19 配信ステップ情報パネルが表示されます。

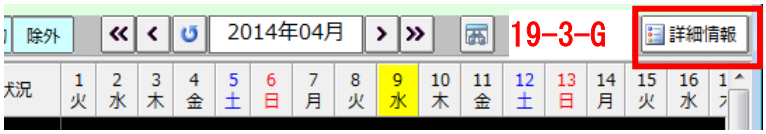


図 19-3.18：詳細情報ボタン

配信ステップ毎の情報がパネルに表示されます。

配信スケジュールリストの日付列で(数字)が描画されている図形をクリックするか、図 19-3.19 の 19-3-H 配信ステップ一覧の内容をクリックすることでパネル上部の各情報欄に内容がセットされます。

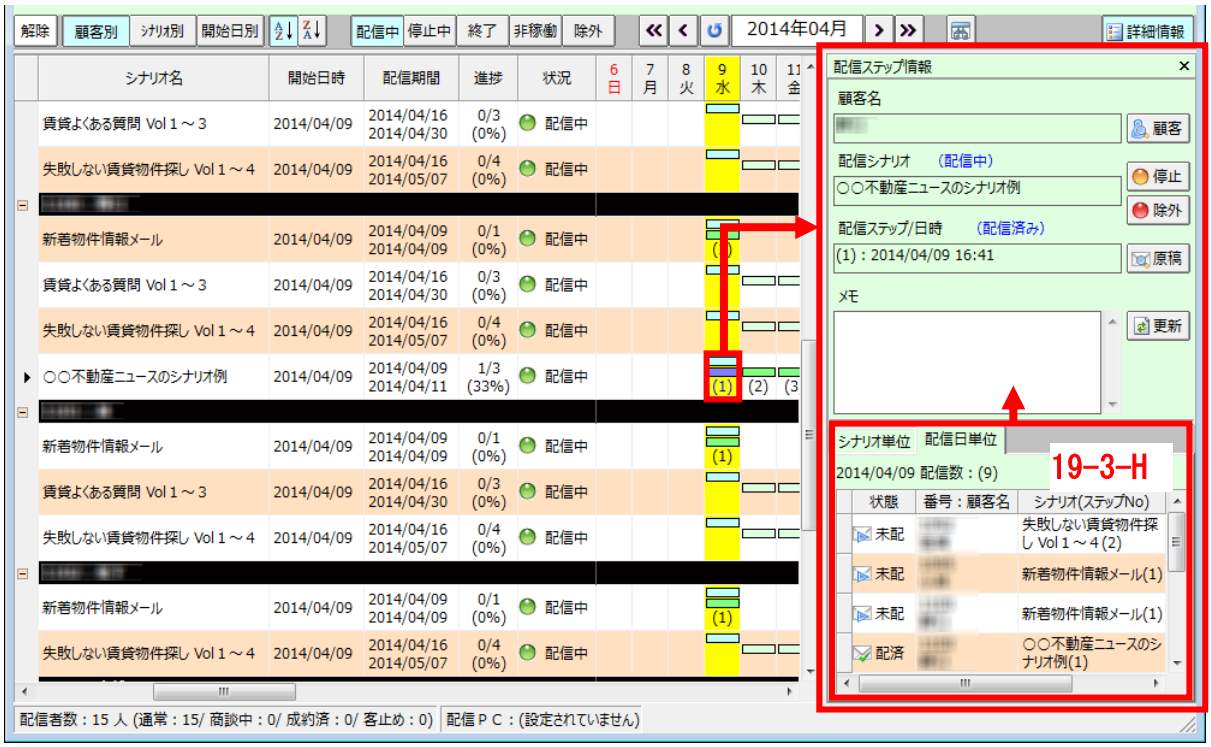


図 19-3.19：配信ステップ情報パネル

◆◆◆配信ステップ情報パネル◆◆◆

各シナリオの配信単位の情報を表示します。また、配信状況の変更を行えます。

「顧客名」

・指定した配信ステップの顧客の氏名を表示します。

「顧客」ボタン

・顧客名で示された顧客の情報を図 19-3.20 顧客情報表示画面で表示します。

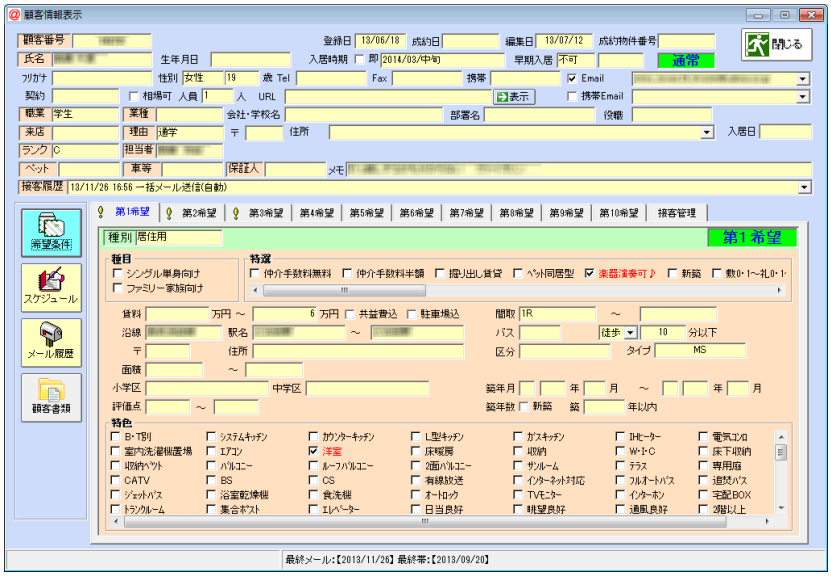


図 19-3.20：顧客情報表示画面

「配信シナリオ」

・指定した配信ステップが属するシナリオのシナリオ名を表示します。
そのシナリオの配信状況も表示されます。

「停止」、「再開」ボタン

・指定した配信ステップが属するシナリオの配信を停止するか、再開するかを変更出来ます。

・現在状況が「配信中」の場合はボタンが「停止」になります。「停止中」の場合は「再開」になります。
ボタンをクリックすると、その状況に合わせた図 19-3.21 確認メッセージが表示され、「はい」をクリックすると、配信状況が直ちに変更されます。

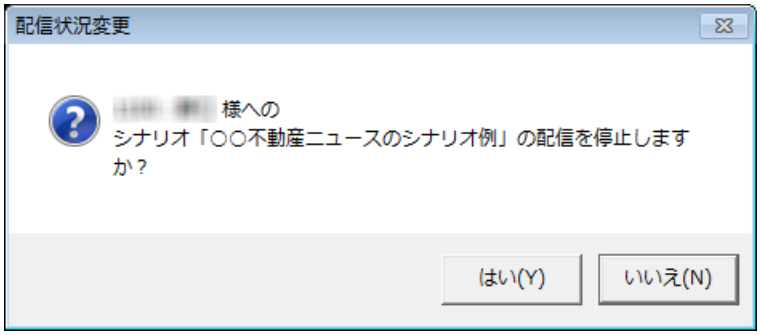


図 19-3.21：確認メッセージ

「除外」ボタン

・指定した配信ステップが属するシナリオの配信から顧客を除外します。
クリックすると、図 19-3.22 の確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると、顧客をリストから除外します。

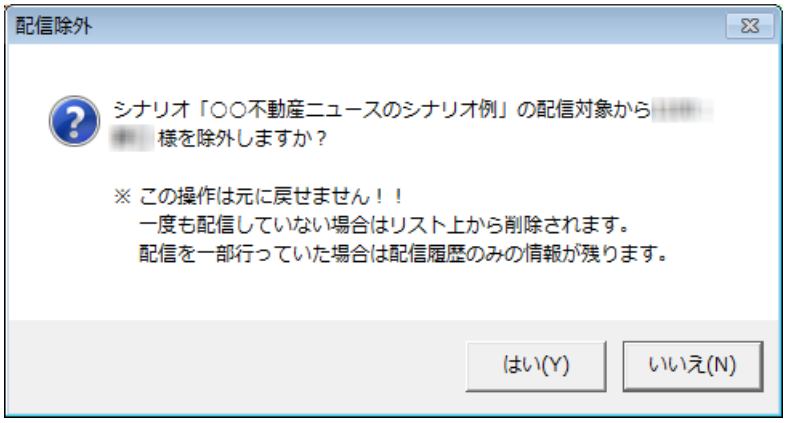


図 19-3.22：確認メッセージ

・除外を行うと一度も選択した顧客に配信を行なっていない場合は、配信スケジュール画面上から消えます。除外した顧客に一部配信を行なっていた場合は、配信履歴のみが配信スケジュール画面上に表示されます。

「配信ステップ/日時」

・指定した配信ステップのステップ番号と配信日時を表示します。
配信ステップが未送信の場合は予定日時、送信済みの場合は実際の送信日時が表示されます。
また、送信済みの場合、(送信済み)という文字が表示されます。

「原稿」ボタン

・指定した配信ステップで送信されるメール文面を配信原稿プレビュー画面で表示します。
(図 19-3.23 参照)
配信ステップが未送信の場合は、固定キー変換された原稿データが表示されます。
送信済みの場合は、実際の送信済みメールを表示します。

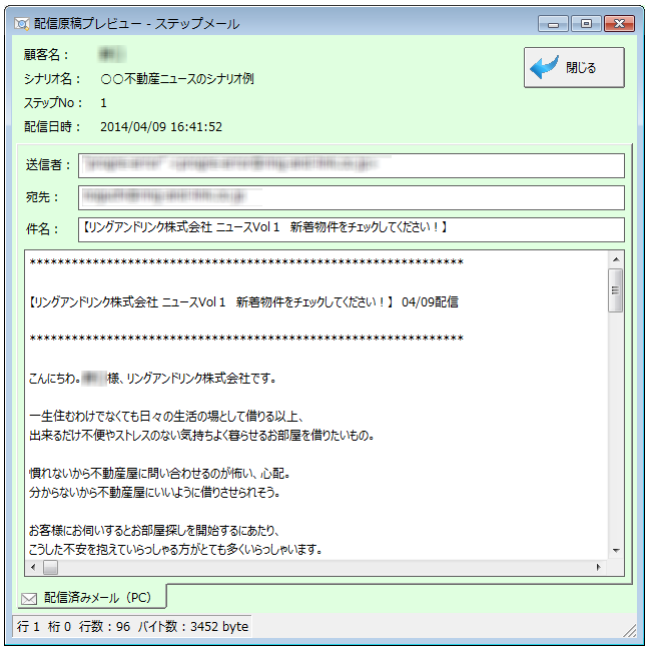


図 19-3.23：配信原稿プレビュー画面

「メモ」

・配信シナリオの配信顧客毎に設定可能なメモです。

「更新」ボタン

・入力したメモを更新します。

◆◆◆配信ステップ一覧 - シナリオ単位タブ◆◆◆

配信スケジュールリストの情報列側をクリックすると、シナリオ単位タブにクリックした配信顧客とそのシナリオ、一覧に配信ステップがセットされます。



図 19-3.24：シナリオ単位タブ

◆◆◆配信ステップ一覧 - 配信日単位タブ◆◆◆

配信スケジュールリストの日付列側をクリックすると、配信日単位タブにクリックした日に配信がある配信ステップがセットされます。

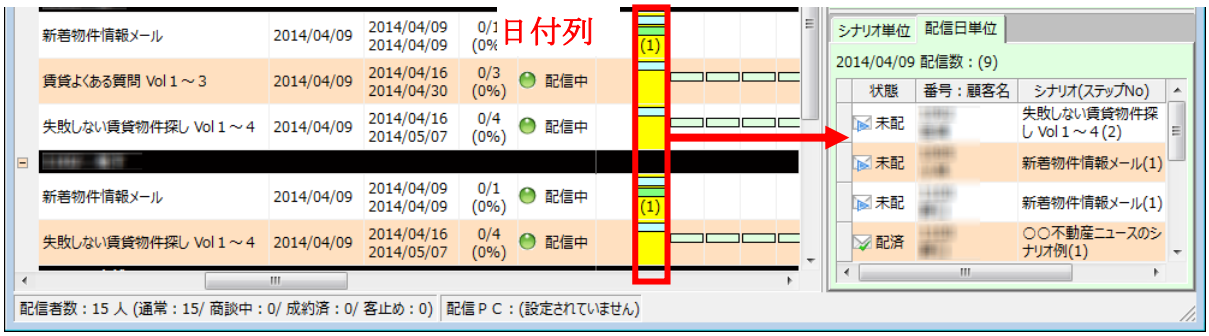


図 19-3.25：配信日単位タブ

【 顧客検索で配信スケジュールリストを絞り込む 】

配信スケジュールリストに表示されている配信顧客を、顧客検索画面を使用して絞り込むことが出来ます。

図 19-3.26 の 19-3-I「顧客検索」ボタンをクリックします。

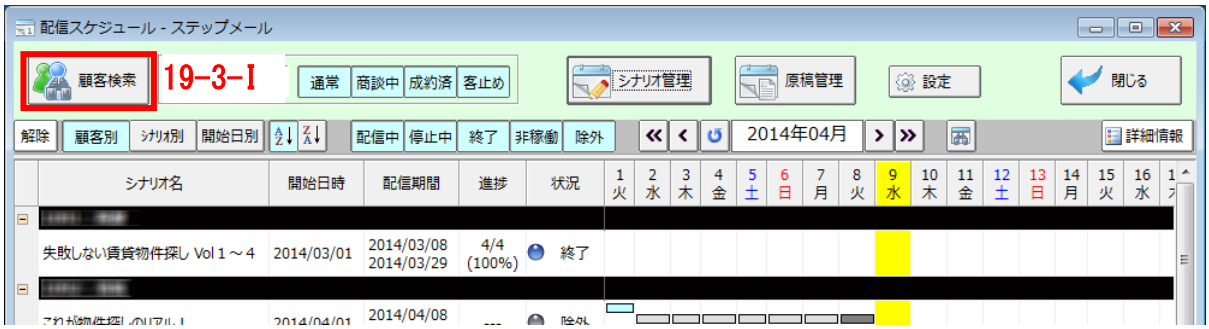


図 19-3.26：顧客検索ボタン

図 19-3.27 顧客検索画面が表示されます。

この顧客検索画面の一覧には、各シナリオの配信リストに登録されている顧客のみ表示されます。

各シナリオの配信リストに登録されていない顧客は一覧には出て来ません。

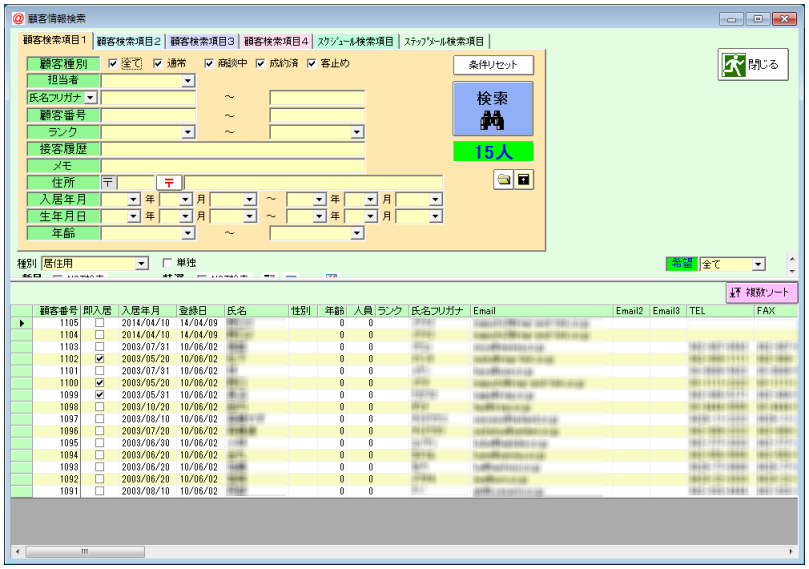


図 19-3.27：顧客検索画面

顧客種別(未成約、商談中、成約済、客止め)のみ検索を行う場合は、配信スケジュール画面上で検索出来ます。(図 19-3.28 19-3-J 参照)

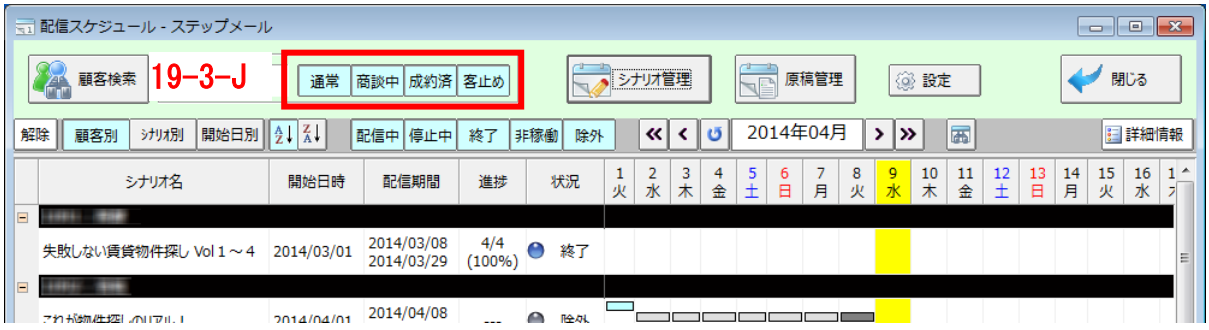


図 19-3.28：顧客種別切り替え

【 配信設定 】

送信モジュールに対する設定を行います。図 19-3.29 の 19-3-K「設定」ボタンをクリックします。

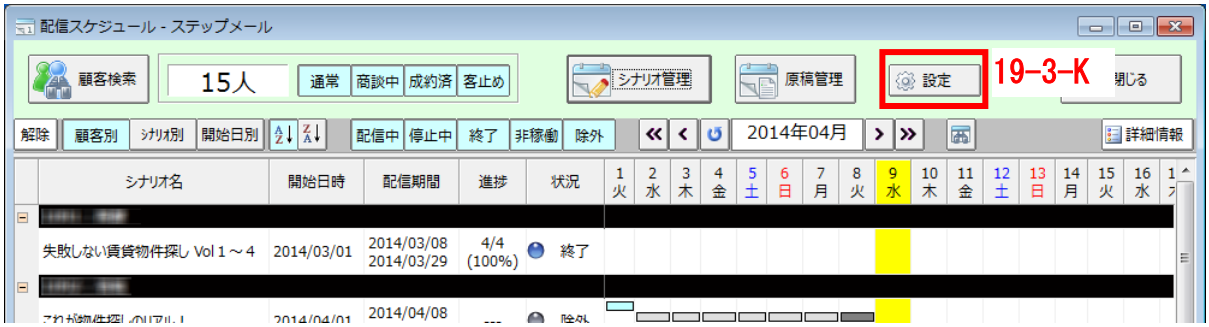


図 19-3.29：設定ボタン

図 19-3.30 配信設定パネルが表示されます。

メール送信は別プロセスで動作する送信モジュールで配信スケジュールを常時監視して、配信時間になるとメール送信を行います。その送信モジュールを制御するための設定になります。

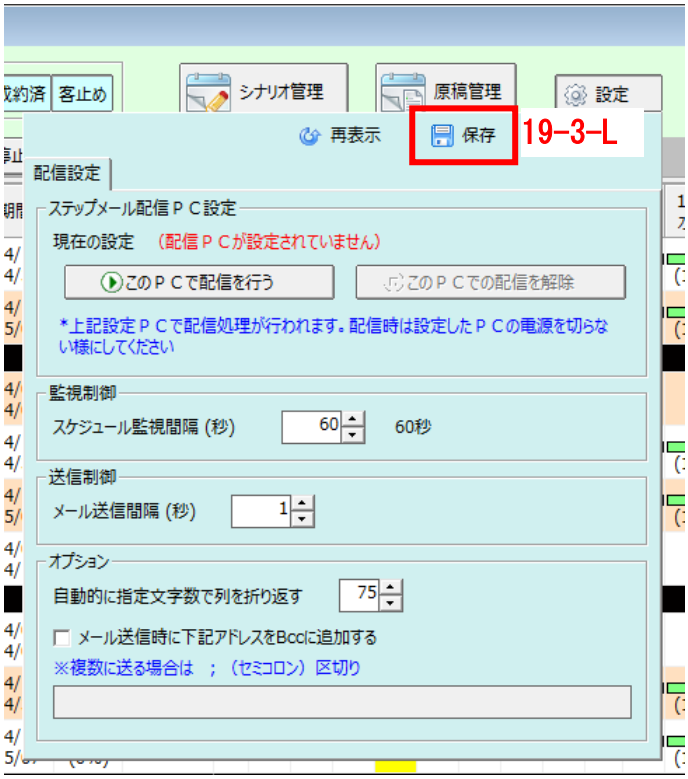


図 19-3.30：配信設定パネル

変更した設定は図 19-3.30 の 19-3-L「保存」ボタンで保存しないと、変更内容が反映されません。

◆◆◆配信設定◆◆◆

「ステップメール配信ＰＣ設定」(Multistore 版は配信ユーザーで置き換えてください)

・メール送信を担当するＰＣを決定します。
ステップメール配信のメール送信は１台のＰＣでのみ行います。
配信ＰＣが設定されていない場合は送信モジュールが起動できません。

・配信ＰＣを設定・変更する場合は、配信を行いたいＰＣ上で行います。
パネルを開き、「このＰＣで配信を行う」ボタンをクリックします。
図 19-3.31 の確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると配信ＰＣが変更されます。

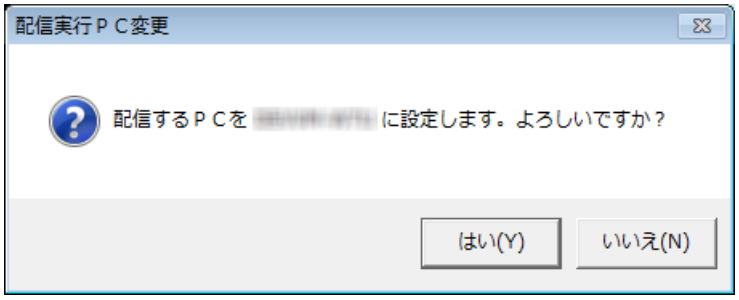


図 19-3.31：確認メッセージ

・どのＰＣからも配信を行わない様にする場合は、配信ＰＣとして設定したＰＣ上でパネルを開き、
「このＰＣでの配信を解除」ボタンをクリックします。
図 19-3.32 の確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると配信ＰＣを解除します。

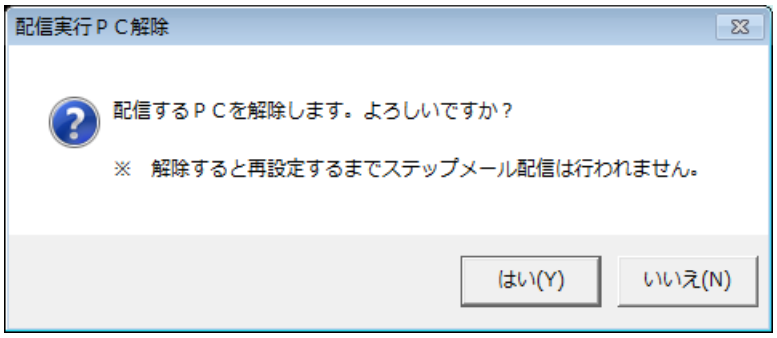


図 19-3.32：確認メッセージ

※設定後、送信モジュールは@dream の起動から終了まで、タスクトレイに常駐します。
@dream を終了すると送信モジュールも終了します。
配信中は@dream を終了させないようお願いします。



図 19-3.33：送信モジュール － タスクトレイ常駐

「監視制御」-「スケジュール監視間隔」

・配信スケジュールを監視する間隔を設定します。10 秒～3600 秒(10 分)の間で設定出来ます。
初期値は 60 秒間隔で配信スケジュールを監視しています。負荷がかかりすぎている場合は、
監視間隔を広げてください。

「送信制御」-「メール送信間隔」

・1 通毎のメール送信間隔を設定します。1 秒～300 秒(5 分)の間で設定出来ます。
初期値は 1 秒です。スパムメール扱いされないよう余裕を持たせるために設定します。

「オプション」 - 「自動的に指定文字列で折り返す」

・メール内容の改行位置を指定します。
自動でメール内容が作成されるため、横に長い文章にならないよう設定します。

「オプション」 - 「メール送信時に下記アドレスを Bcc に追加する」

・任意で Bcc に含めたいメールアドレスがある場合に指定します。
・自メールアドレスを設定し、送信内容を確認する場合などに利用できます。

【 配信ステップを配信済みにする／未配信に戻す 】

強制的に該当ステップを配信済み、または未配信に戻すことが出来ます。

※ステップメールはステップ No1 から最終ステップまで順番通りに配信を行うのが基本です。
特定の顧客に対し、該当ステップを配信したくない、再度配信したい場合等でご使用ください。

状態を変更したい配信ステップ上で右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。
例では未配信ステップを配信済みにします。
「ステップ No??を配信済みにする」メニューをクリックします。(図 19-3.34 参照)
※??はクリックしたステップ番号によって変わります。
確認メッセージが表示されます。(図 19-3.35 参照)
「はい」をクリックすると、選択したステップが配信済みになります。(図 19-3.36 参照)

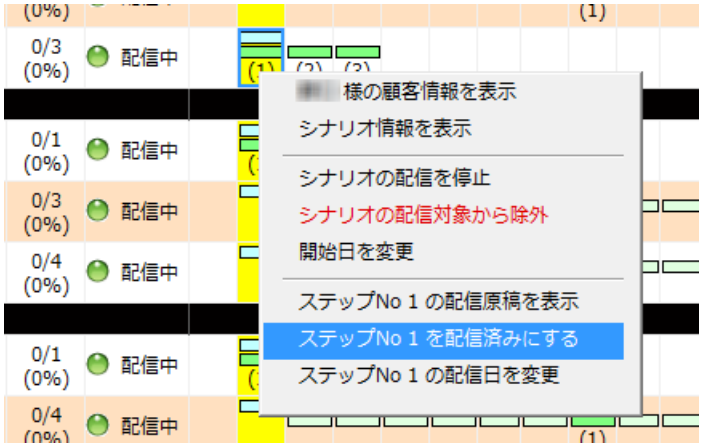


図 19-3.34：状態変更前

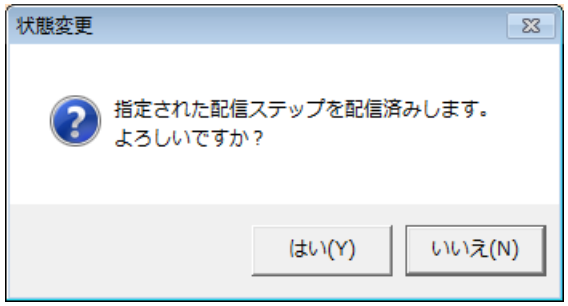


図 19-3.35：確認メッセージ

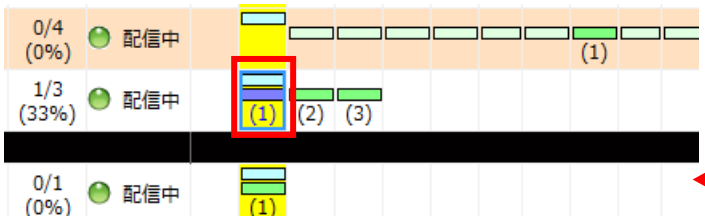


図 19-3.36：状態変更後

配信済みのステップを未配信に戻す場合も同様の操作になります。
未配信に戻すと状況が「配信中」の場合、過去の未配信スケジュールとして送信モジュールでメール送信される対象になります。

※配信済み、未配信の状態は連続している必要があります。
例えばステップ No4 を配信済みにした場合は、ステップ No4 以前のステップも全て配信済みになります。
※強制的に配信済みにしたステップはメール送信されていませんので、メール送信時の履歴には残りません。

【 配信開始日を変更する 】

シナリオの配信リスト登録後に開始日を変更することが出来ます。
配信開始日はシナリオの配信リストに顧客を登録した日となります。この開始日から各ステップで設定された間隔を加算して実際の配信日が決まります。
通常この操作を行う必要はありません。特定の顧客への配信を遅らせたい等の場合にご使用ください。

※配信を遅らせる用途の場合、配信リスト登録直後にシナリオの稼動状態を「非稼働」にして、配信したい日に「稼働中」にする、または配信顧客の状況を「停止中」にして、配信したい日に「配信中」に戻すことでも同様のことは行えます。

開始日を変更したい配信顧客上で右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。
「開始日を変更」メニューをクリックします。(図 19-3.37 参照)

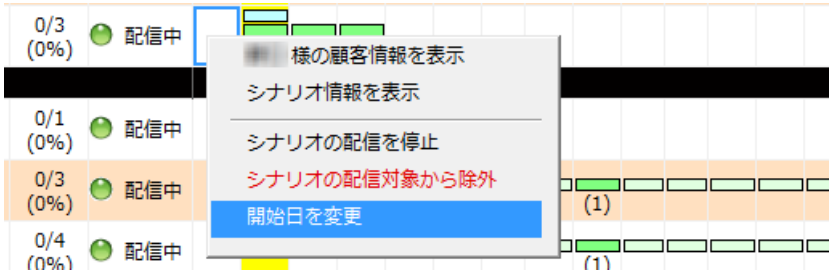


図 19-3.37：開始日変更前

図 19-3.38 開始日時変更画面が表示されます。
19-3-M で日付を変更し、「OK」をクリックします。図 19-3.39 確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、開始日が変更されます。(図 19-3.40 参照)

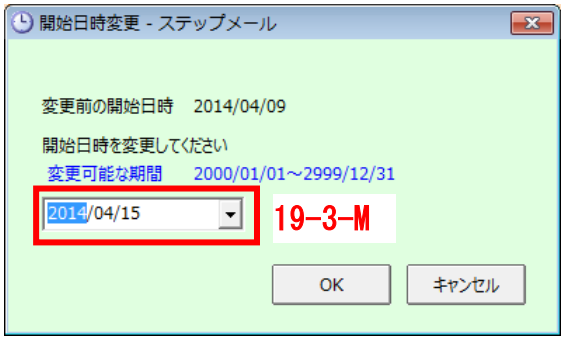


図 19-3.38：開始日時変更画面

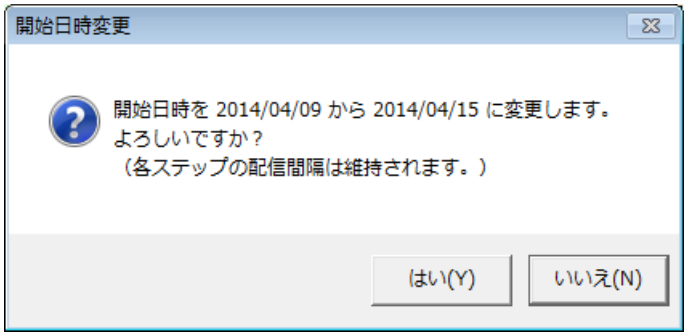


図 19-3.39：確認メッセージ

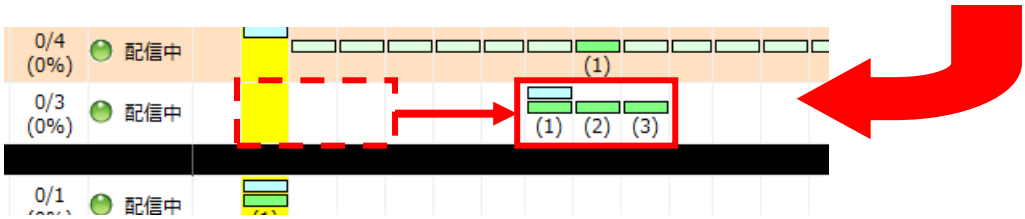


図 19-3.40：開始日変更後

※変更が可能なのは一度も配信されていないスケジュールに対してのみです。配信が行われた場合は変更できません。

【 配信日時を変更する 】

シナリオの配信リスト登録後にスケジュールの配信日時を変更することが出来ます。
特定の顧客への配信を早める、遅らせたい等の場合にご使用ください。
※配信を遅らせる用途の場合、配信リスト登録直後にシナリオの稼動状態を「非稼働」にして、配信したい日に「稼働中」にする、または配信顧客の状況を「停止中」にして、配信したい日に「配信中」に戻すことでも同様のことは行えます。

配信日時を変更したい配信ステップ上で右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。
「ステップ No??の配信日を変更」メニューをクリックします。(図 19-3.41 参照)
※??はクリックしたステップ番号によって変わります。

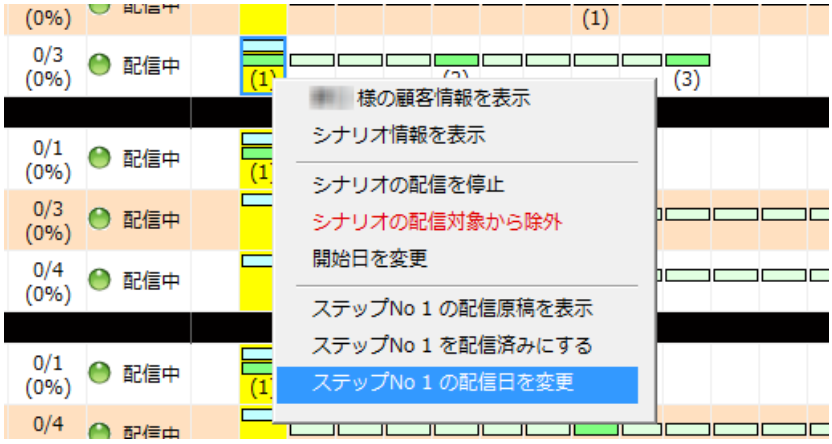
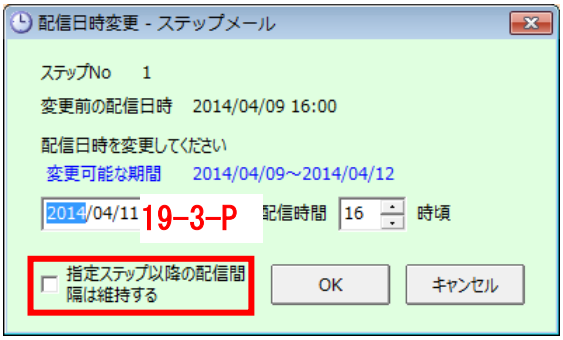


図 19-3.41 : 配信日時変更前

図 19-3.42 配信日時変更画面が表示されます。
19-3-N で日付を変更し、19-3-0 で時間を変更出来ます。
19-3-P のチェックが ON 状態だと、変更したステップ以降の配信日も間隔を維持して変更されます。
チェックが OFF 状態だと、変更したステップのみ配信日が変更されます。
(変更可能な範囲も前ステップから後のステップの配信日内に限定されます)



図 19-3.42 : 配信日時変更画面 - 間隔維持



間隔を無視した場合

変更後に「OK」をクリックします。図 19-3.43 確認メッセージが表示されます。
「はい」をクリックすると、配信日時が変更されます。(図 19-3.44 参照)

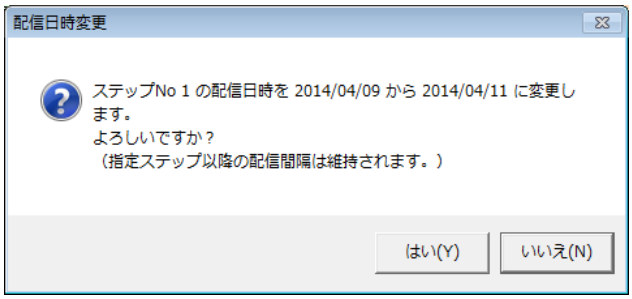
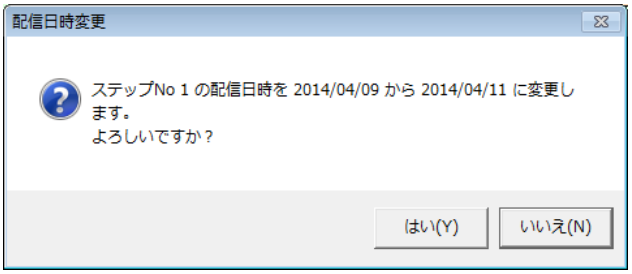


図 19-3.43：確認メッセージ - 間隔維持



間隔を無視した場合

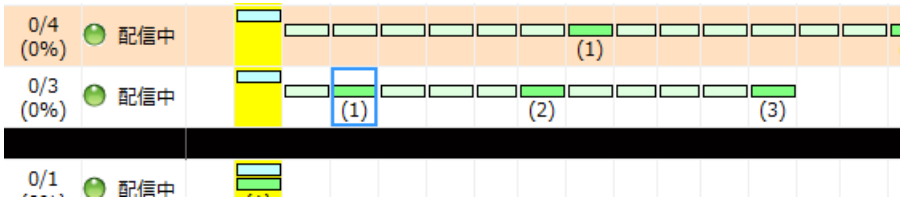
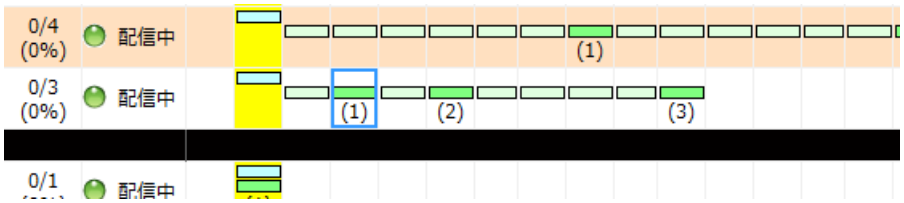


図 19-3.44：配信日変更後 - 間隔維持



配信日変更後 - 間隔を無視した場合

※変更が可能なのは未配信のスケジュールに対してのみです。配信が行われた場合は変更できません。
※ここで配信日を変更しても、該当シナリオのステップ間隔は前のままです。
該当シナリオを変更・保存すると、再度配信日がステップ間隔通りの日時に戻されます。
配信が行われるまではシナリオの変更等を行わないでください。

【 配信履歴を削除する 】

配信履歴を削除することが出来ます。
配信が一度でも行われたシナリオから顧客を除外しても、配信履歴は残されたままになります。
除外した顧客の配信履歴が不必要な場合にご使用ください。

削除したい配信履歴上で右クリックします。ポップアップメニューが表示されます。
「配信履歴を完全に削除」メニューをクリックします。(図 19-3.45 参照)
確認メッセージが表示されます。(図 19-3.46 参照)
「はい」をクリックすると、配信履歴が削除されます。(図 19-3.47 参照)



図 19-3.45：配信履歴削除前

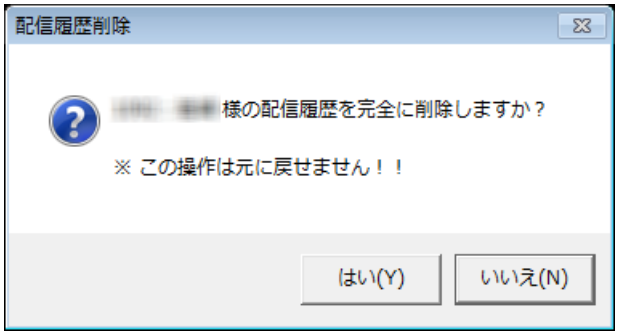


図 19-3.46：確認メッセージ

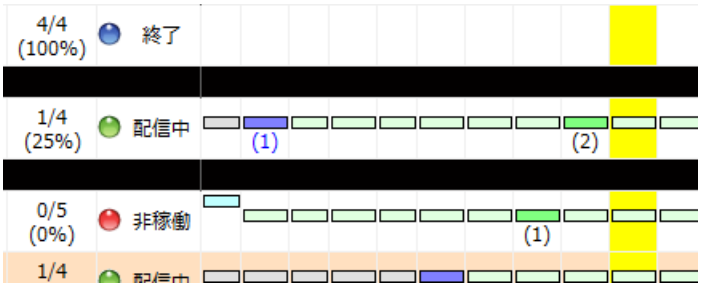


図 19-3.47：配信履歴削除後

※配信履歴を削除出来るのは、配信顧客の状況が「除外」になっているデータのみです。
配信顧客の状況が「配信中」、「停止中」、「終了」、「非稼働」の場合は削除出来ません。
※シナリオから配信顧客を除外する方法は
19-2【 配信リストを設定する 】、19-3【 配信ステップ毎の詳細情報を確認する 】
を参照してください。

※配信履歴の削除は配信シナリオ毎になります。別のシナリオで除外されていてもそちらの配信履歴は削除されません。

１９－４　【 ステップメール配信を行う 】

メール送信は別プロセスで動作する送信モジュールで配信スケジュールを常時監視して、配信時間になるとメール送信を自動的に行います。

送信モジュールは 19-3【 配信設定 】で配信担当として設定されたＰＣで、@dream が起動している間、動作します。

送信モジュールが起動すると、配信ＰＣのタスクトレイにアイコンが表示されます。(図 19-4.1 参照)

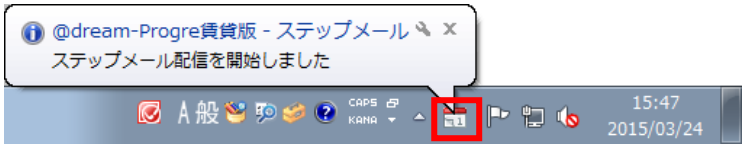


図 19-4.1：タスクトレイ常駐

タスクトレイのアイコン上で右クリックすると、図 19-4.2 ポップアップメニューが表示されます。

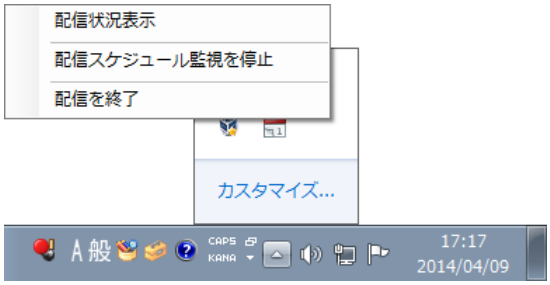


図 19-4.2：ポップアップメニュー

◆◆◆ポップアップメニュー◆◆◆

「配信状況表示」

・図 19.4-3 配信状況画面を表示します。
　タスクトレイアイコンをダブルクリックすると同様のことが行えます。

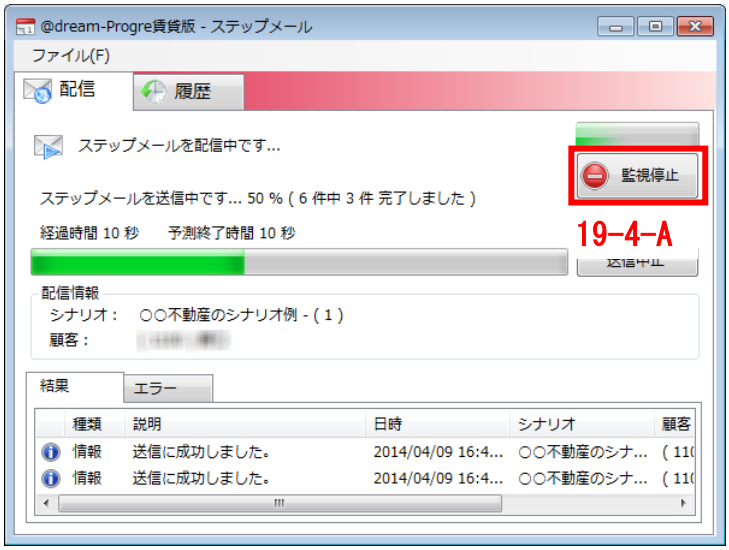


図 19-4.3：配信状況画面

「配信スケジュール監視を停止／配信スケジュール監視を再開」

・配信スケジュールの監視を停止／再開します。停止時はメール送信も行われません。

図 19-4.3 配信状況画面の 19-4-A「監視停止／監視再開」でも同様のことが行えます。

タスクトレイアイコンに監視状態の通知が行われます。(図 19-4.4 参照)

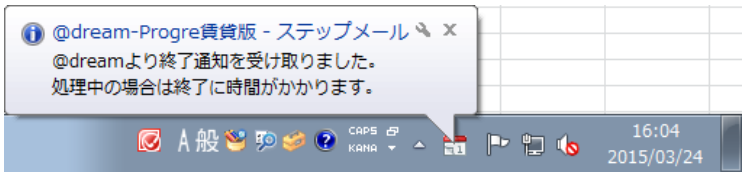


図 19-4.4：監視状態通知

「配信を終了」

※@dream を終了する際に送信モジュールも終了するため、通常この操作は不要です。

・図 19-4.5 確認メッセージが表示されます。「はい」をクリックすると送信モジュールを終了します。

※終了すると再度起動されるまでステップメール配信は行われなくなります。

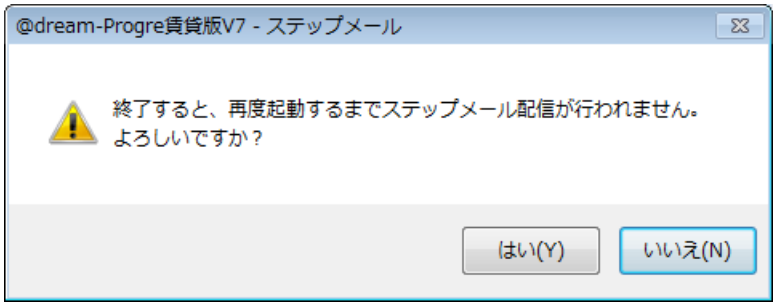


図 19-4.5：確認メッセージ

・図 19-4.6 配信状況画面の 19-4-B「ファイル」→「配信を終了」からも同様に終了できます。

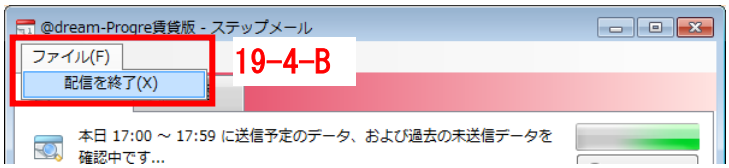


図 19-4.6：配信状況画面 － 配信を終了

※画面右の ボタンでは終了できません。必ず「配信を終了」から終了してください。

【 メール送信状態を確認する 】

ステップメールの送信状況を確認するには図 19-4.7 配信状況画面を表示して 19-4-C 配信タブをクリックします。

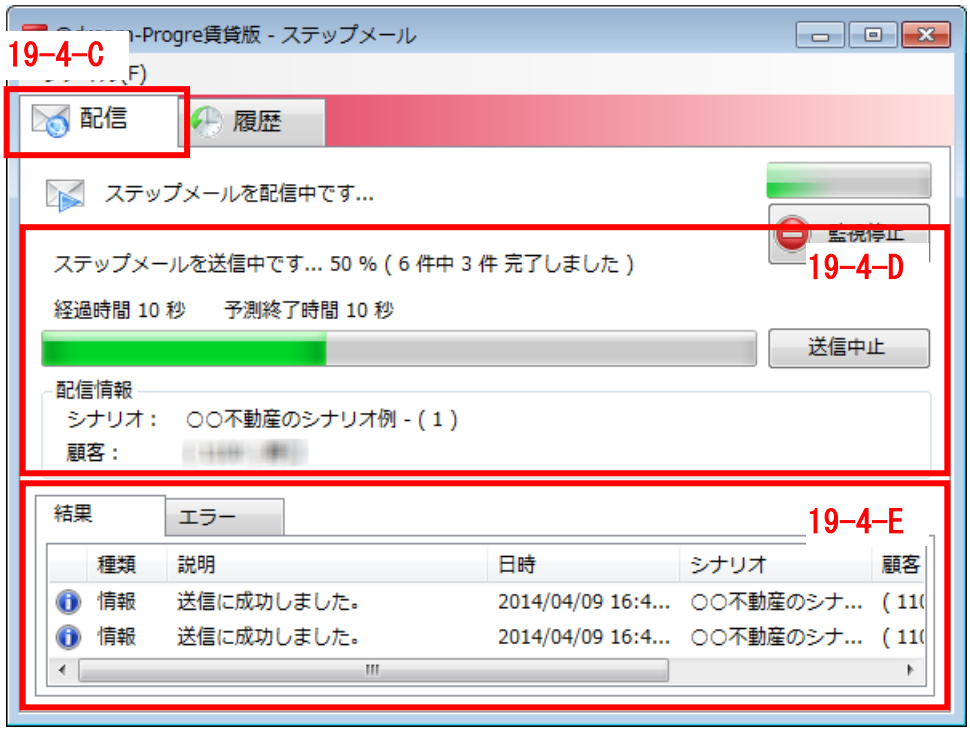


図 19-4.7：配信状況画面 - 配信タブ

配信スケジュール監視間隔毎に配信スケジュールデータを参照し、現在の時間で配信するステップがあれば、メール送信を行います。

図 19-4.7 の 19-4-D 欄にはメール送信中の状態が表示されます。

19-4-E の結果タブにはメール送信結果が表示されます。次の配信時にクリアされます。

エラータブにはメール送信以外でエラー発生した場合にエラー内容が表示されます。

メール送信が成功すると、送信した配信ステップを送信済みにします。

@dream の配信スケジュール画面で確認すると、送信したステップが配信済みになっているのが確認出来ます。（図 19-4.8、図 19-4.9 参照）

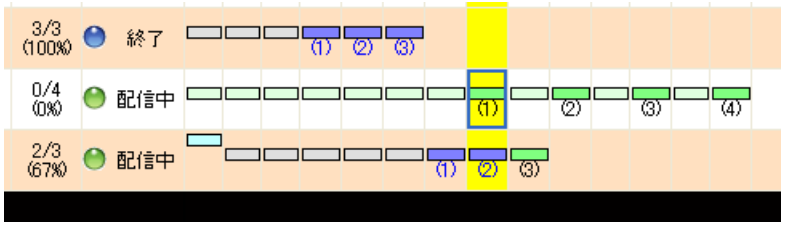


図 19-4.8：配信前

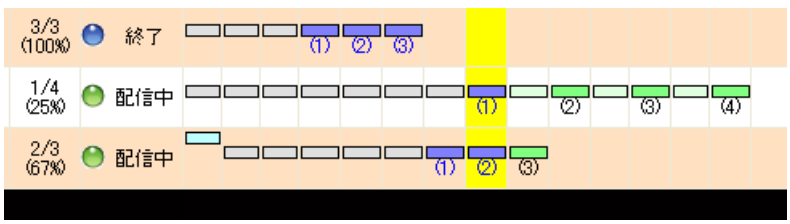


図 19-4.9：配信後

◇シナリオ配信対象を「両方」にしている場合◇

・シナリオ配信対象を両方にしている場合は顧客に対して PC 用メールと携帯用メールを送信します。
配信対象の顧客に片方のメールアドレスしか登録されていない場合、片方のメール送信は必ず失敗します。
ただし、もう片方のメール送信が成功していた場合は、成功扱いとしてステップを進めます。

◇配信当日にメール送信出来なかった配信ステップの扱い◇

・配信当日に、配信ＰＣが起動されていなかった。メール送信に問題が発生して配信が出来なかった場合など、予定通りに配信出来ない事があります。
配信スケジュール監視では過去に配信できていない配信ステップも抽出対象になっているため、メール送信が出来る状態になった時点で、配信が行われます。配信漏れは起こりません。
配信が出来なかった配信ステップの中で最小ステップ番号の内容がまずメール送信され、
以降のステップは配信日が変更されます。（配信間隔は維持されます。）

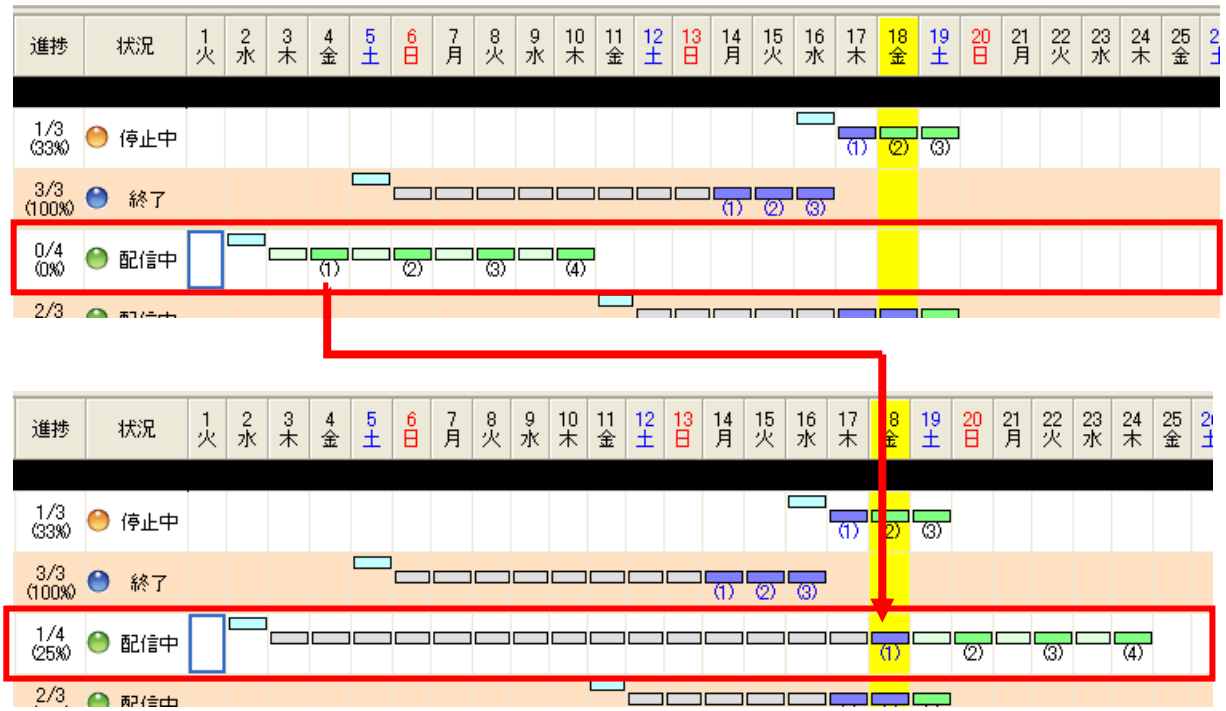


図 19-4.10：未配信ステップの処置

【 送信履歴を確認する 】

過去に送信したステップメールの送信状況を確認するには図 19-4.11 配信状況画面を表示して 19-4-F 履歴タブをクリックします。

※メール送信に成功したか失敗していたかを確認できる履歴です。
配信履歴では無いので注意してください。

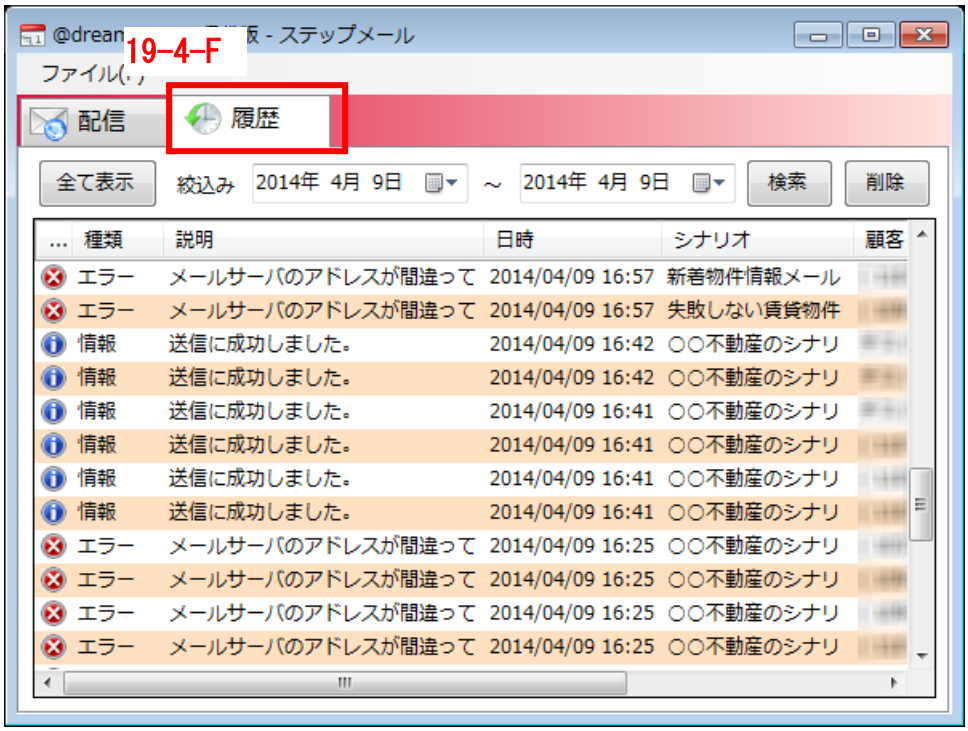


図 19-4.11：配信状況画面 － 履歴タブ

「全て表示」

・保持されている履歴を全て表示します。

「絞込み」

・表示したい送信日の期間を指定します。

「検索」

・「絞込み」で指定された送信日の期間を抽出して一覧に表示します。

「削除」

・「絞込み」で指定された送信日の期間を抽出してデータを削除します。

※履歴データが大量になってくるとパフォーマンスに影響します。定期的に削除してください。

@dream-Progre **賃貸版**

第19章 ステップメール

取扱説明書

２０２１年　２月　０９日　第４版第１刷発行

発行者　金丸　信一
発行所　リングアンドリンク株式会社
ソフト事業部　ＴＥＬ：０１２０－４６５－１４６
ＦＡＸ：０４－２９４６－２６６３
Ｅ－Ｍａｉｌ：dream-progre@ring-and-link.co.jp
〒３５９－００２７　埼玉県所沢市松郷１５１－５１

ⓒ ２０２１　Ring and Link Corporation

本書の一部または全部を著作権法の定める範囲を超え、無断で複写、複製、
転載、テープ化、ファイル化することを禁じます。